

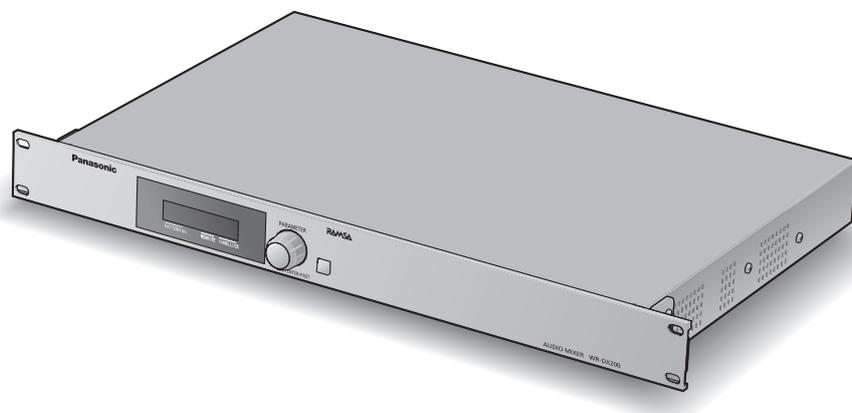
## 取扱説明書

工事説明付き

オーディオミキサー **業務用**

品番： **WR-DX200**  
**WR-DX200DAN** (Dante搭載)

# RAMSA



イラストはWR-DX200です。

### 保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(6～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

# はじめに

## 商品概要

本機は、モノラル入出力を各8系統、ステレオ入力4系統、ステレオ出力2系統を備えた1Uサイズのコンパクトなデジタルミキサーです。LANや接点入出力、VCA入力といった外部制御機能も搭載しており、会議室／講義室での使用に最適な設備用デジタルミキサーです。USBオーディオ入出力を搭載し、エコーキャンセラーユニット（WR-PC200：別売品）を搭載することで、ハイブリッド会議の場面でもご使用いただけます。また、WR-DX200DANはDante®オーディオネットワークを介した音声入出力が可能です。

## 主な特長

- 信号処理部、電源部を内蔵した1Uサイズのラックマウントタイプ デジタルプロセッシングミキサー。
  - アナログ入力16チャンネル（モノラルマイク／ライン入力×8、ステレオライン入力×4）、アナログ出力12チャンネル（モノラルライン出力×8、ステレオライン出力×2）を装備。出力系統はマトリクスだけでなく、ミキシングバスもアサイン可能。
  - USBオーディオ入出力を搭載。PCと接続して、オンラインとリアル拡声とのハイブリッド運用が可能。エコーキャンセラーユニット（WR-PC200：別売品）を搭載することで、エコーキャンセラーやデジタルノイズリダクション機能も使用可能。
  - 制御LAN端子を使用して、外部タッチパネルコントローラー（市販品）などから制御可能。また、プロジェクターやディスプレイなどの機器を制御することも可能。
  - PC用リモートコントロールソフト、iPad用アプリを無償提供。
  - Audinate社のオーディオネットワークプロトコルDante®を介した音声入出力（16入力、16出力）が可能（WR-DX200DANのみ）。※1
- ※1 Audinate®、AudinateのロゴおよびDante®は、Audinate Pty Ltdの登録商標です。

## 付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）	1冊	電源コード（2 m）	1本
保証書	1式	電源コードクランプ	1個
ライセンスちらし（WR-DX200DANのみ）	1枚	コネクター式端子台ヘッダー（3ピン）	22個
ラック取付ねじ（M5×12）	4本	コネクター式端子台ヘッダー（6ピン）	2個

## 取扱説明書について

取扱説明書は、本書と、PC用リモートコントロールソフト（PDFファイル）の取扱説明書があります。PC用リモートコントロールソフトの取扱説明書は下記の製品ページよりダウンロードできます。  
[https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services\\_sound\\_dl-software-pc-wr-dx200](https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_sound_dl-software-pc-wr-dx200)

本機の基本的な操作方法については本書をお読みください。構成は次のようになっています。

- はじめに : 最初に読んでいただきたい内容を記載しています。
- 設置・接続 : 本機の設置および他機器との接続方法を説明しています。
- 基本操作 : 基本的な操作方法を説明しています。
- その他 : 本機の仕様および保証とアフターサービスについて説明しています。

リモートコントロールソフトの操作方法については、PC用リモートコントロールソフトの取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。

※ PDFファイルをお読みになるには、Adobe® Reader®が必要です。

## 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
  - ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
  - ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
  - ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、運用ができないことなどで被る不便・損害・被害
  - ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
  - ⑥ 本商品の不良・不具合以外の事由（取付工事の不備、建屋側取り付け面の不良などを含む）による落下などによる不便・障害・被害
  - ⑦ 登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより本商品を初期化する場合を含む）により消失してしまうこと
- 取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

## 商標および登録商標について

- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、Internet Explorer、およびActiveXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Dante®およびAudinate®はAudinate社の登録商標または商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

## 略称について

このドキュメントでは、以下の略称を使用しています。

- パーソナルコンピュータをPCと表記しています。
- PC用リモートコントロールソフトをリモートソフトと表記しています。

# はじめに

## ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ① 本機を経由した情報の漏えいや流出
- ② 悪意を持った第三者による本機の不正確操作
- ③ 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- コンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏洩させないため、認証設定でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。
- 外部施設からの屋外引き込みケーブルが直接接続されているネットワークに、本機を接続しない。

## オープンソースソフトウェアについて

WR-DX200DANは下記のOSSを使用しています。

[GPL/LGPL]

PetaLinux

libsodium

uClibc

Linux kernel

u-boot

busybox

[GPL/LGPL 以外]

xnprintf for C/C++

tropicsssl

Precision Time Protocol daemon (1b2)

mDNSResponder (258.13)

### 本製品に含まれる第三者製ソフトウェアのライセンスについて

本製品はGPL/LGPL等の第三者製ソフトウェアを含んでいます。そのライセンスは、同梱されているチラシ「OSS (Open Source Software) ライセンス文について」を参照してください。また、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問合せ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、LGPL V3.0、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読み取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

### 著作権等について

GPL/LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

## 記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



**重要**：該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



**メモ**：使用上のヒントが書かれています。

# もくじ

## はじめに

はじめに	2
商品概要	2
主な特長	2
付属品をご確認ください	2
取扱説明書について	3
免責について	3
商標および登録商標について	3
略称について	3
ネットワークに関するお願い	4
オープンソースソフトウェアについて	4
記号について	4
安全上のご注意	6
使用上のお願い	8
各部の名前とはたらき	9
前面	9
後面	10

## 設置・接続

設置	11
設置上のお願い	11
エコキャンセラーユニットの組み込みかた	12
ラックへの取り付けかた	14
電源コードの取り付けかた	15
接続	16
コネクタ式端子台ヘッダーの接続	16
USBオーディオの接続	20
PCやiPadとの接続	20
Dante®接続 (WR-DX200DANのみ)	21
システム接続例	22

## 基本操作

基本操作	26
本機の電源の入れかた／切りかた	26
前面パネルでの操作	26
ロック機能について	34
ミキサー操作ユニットについて	35
音を出すために	38
エコキャンセラー機能について	40

## その他

外形寸法図	41
ブロックダイヤグラム	42
レベルダイヤグラム	44
エラーメッセージ	45
故障かな!?	46
仕様	48
設定一覧	50
設定一覧	50
工場出荷状態でのパターンメモリーの内容	60
PU200 工場出荷状態のアサインブルキー設定	62
保証とアフターサービス	63

# 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



## 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



## 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



## 警告



### ■ 工事は販売店に依頼する

(工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。)  
→ 必ず販売店に依頼してください。

### ■ ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける

(落下によるけがや事故の原因となります。)

### ■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。)  
→ 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### ■ 電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

(コードが傷つき、火災や感電の原因となります。)

### ■ 持ち運ぶときはコード類をすべて抜く

(コードに足をかけたりして、けがの原因となります。また、コードが傷つき火災や感電の原因となります。)

### ■ お手入れのときは電源を切る

(感電の原因となります。)

### ■ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。)  
→ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### ■ 異常があるときは、すぐ使用をやめる

(煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。)  
→ 放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。



禁止

### ■ ケーブルなどは引っ張らない

(火災や感電の原因となります。)

### ■ ケーブルなどを傷つけない

(重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。)

## 警告



禁止

- 湿気やほこりの多い場所に設置しない  
(火災や感電の原因となります。)
- 不安定な場所に置かない  
(落下や転倒によるけがや事故の原因となります。)
- 振動や強い衝撃を与えない  
(火災や感電の原因となります。)
- 異物を入れない  
(水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。)  
→ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない (傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など)  
(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。)  
→ コードやプラグの修理は販売店に相談してください。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない  
(たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。)
- 電源を入れたまま工事、配線をしない  
(火災や感電の原因となります。)
- 雷のときは工事、配線をしない  
(火災や感電の原因となります。)



ぬれ手禁止

- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない  
(感電の原因となります。)



分解禁止

- 分解しない、改造しない  
(火災や感電の原因となります。)



水ぬれ禁止

- 水をかけたり、ぬらしたりしない  
(火災や感電の原因となります。)  
→ 直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。
- 機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない  
(水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。)  
→ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。



接触禁止

- 雷が鳴り出したら、本機や電源コード、接続したケーブルに触れない (工事時を含む)  
(感電の原因となります。)

## 注意



禁止

- 通風孔、冷却ファンをふさがない  
(内部に熱がこもり、火災の原因となります。)

# 使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

## 使用温度範囲は

0℃～45℃です。この温度範囲以外で使用すると、故障または誤動作の原因となります。

ラックマウントする場合や、扉付きラックに収納する場合も、動作中に上記の温度範囲を満たせるように設置してください。

## 付属の電源コードは本機専用です。

他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

## 本機に電源スイッチはありません

電源をOFFする場合は、コンセントから本機の電源プラグを抜いてください。また、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

## 電源をON/OFFするときは

パワーアンプや周辺機器の電源を切ってから行ってください。クリックノイズが発生し、スピーカーや周辺機器を破損する恐れがあります。

## 長期間使用しない場合は

電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 結露について

結露は、故障の原因になりますので注意してください。

以下のようなときに結露が発生しやすくなります。

- 湿度が高いとき
  - 冷たい場所から、温度や湿度の高い場所に移動したとき
- 結露が発生した場合は、1～2時間程度放置して、結露がなくなったことを確認してから電源を入れてください。

## コネクターの抜き差しをする場合は、

必ず音量レベルを絞り切りまで下げて、チャンネルスイッチまたはアンプの出力を切ってから行ってください。クリックノイズが発生し、スピーカーの破損が生じる場合があります。

## ファンタム電源について

CDプレーヤー、エフェクト機器、アンバランスタイプのマイクを接続するときは、必ず接続するシステムのファンタム電源をOFFにしてください。故障の原因となる恐れがあります。

また、外部電源使用のコンデンサーマイクの抜き差しは、音量レベルを絞り切りまで下げて、チャンネルスイッチ、ファンタム電源スイッチを切ったあと、1分以上経過してから行ってください。マイク、ミキサーに破損・故障が生じる恐れがあります。

## ご使用の際は

- トランシーバー、トランス、調光器、CRTモニターなどからできるだけ離してご使用ください。誘導ノイズを受ける恐れがあります。
- スイッチ、ノブに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

## お手入れは

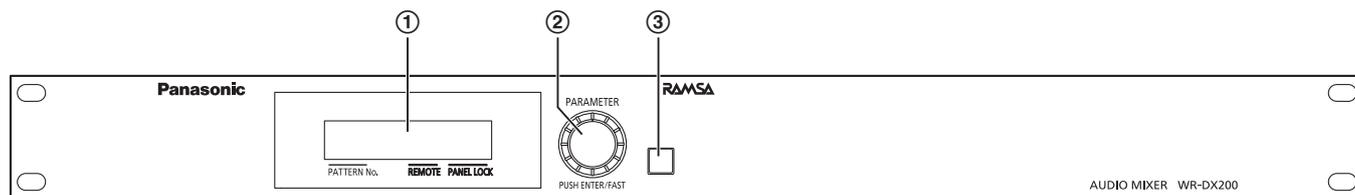
- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

## 使用上の注意事項

- 同一入力信号を異なる経路でミキシングする場合、信号処理のための位相差によって音質が変わることがあります。
- 信号入力状態で各種パラメーターやスイッチの設定・変更を行った場合、音声データの不連続によって、ノイズとして聞こえることがあります。
- 出力端子の系統設定・変更は、パワーアンプの電源を切ってから行ってください。

# 各部の名前とはたらき

## 前面



### ①ディスプレイ

- 本機の設定内容を表示します。
- 16桁×2行のキャラクタータイプの液晶表示器を使用しています。
- LEDバックライト付きです。
- バックライトの消灯設定は以下の2つから選択可能です。

– 60秒操作をしない場合、バックライトが消灯

– 常にバックライトは点灯

この選択はPC用リモートコントロールソフトから設定可能です。詳細はPC用リモートコントロールソフトの取扱説明書をお読みください。

### ②ロータリーエンコーダー [PARAMETER]

- 各機能の設定値を変えるときに使用します。
- ディスプレイ上の項目／設定値が点滅している場合に、つまみを押すことで項目が選択される、もしくは、設定値が有効になります。入力トリム値設定時を除いて、つまみを押さずに、エスケープボタンで1つ前の状態に戻った場合、選択値は有効になりません。

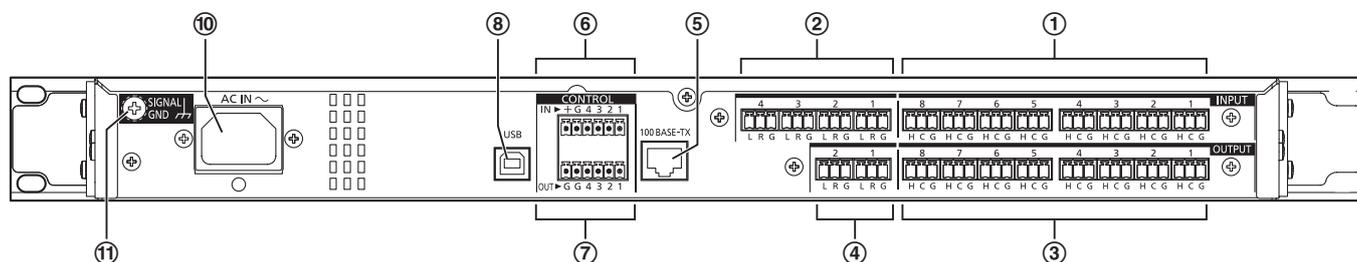
### ③エスケープボタン [ESC]

押すことで、ディスプレイでの設定において、1つ前の状態に戻ります。

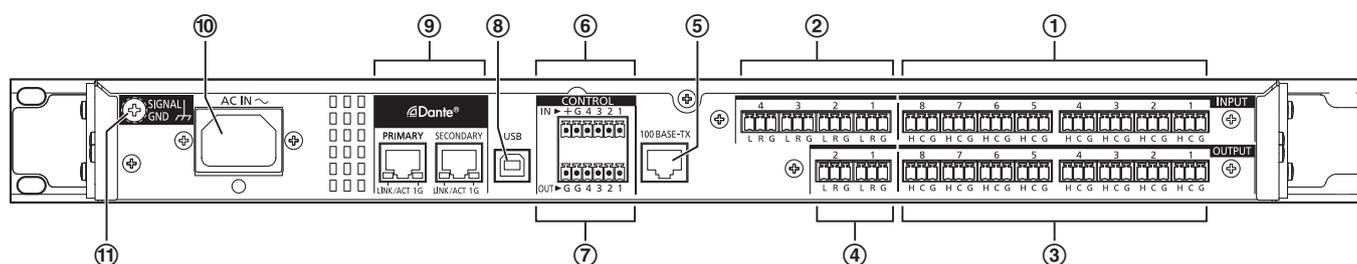
# 各部の名前とはたらき

## 後面

### WR-DX200



### WR-DX200DAN



#### ① バランスインプット1～8端子 [INPUT 1～8]

バランス音声の入力用端子です。マイクロホンなどの機器を接続するために使用します。

#### ② アンバランスインプット1～4端子 [INPUT 1～4]

アンバランス音声の入力用端子です。再生機器のステレオ出力信号などを接続するために使用します。

#### ③ バランスアウトプット1～8端子 [OUTPUT 1～8]

ミキシングされたバランス音声が出力される端子です。パワーアンプなどの機器に接続するために使用します。

#### ④ アンバランスアウトプット1～2端子 [OUTPUT 1～2]

ミキシングされたアンバランス信号が出力される端子です。録音機器やテレビ会議システムのステレオ入力に接続するために使用します。

#### ⑤ LANコネクター [100BASE-TX] (RJ45)

PCなどの制御機器と接続する端子です。市販のWi-Fiルーター経由で、Wi-Fi機器からの制御も可能です。

#### ⑥ 制御入力端子 [CONTROL +,G,4,3,2,1]

本機を外部機器からの接点制御（スイッチなど）で制御する場合や、外部のボリュームから本機の音量を調整するとき使用する端子です。端子ごとにどちらの機能を使用するかをPC用リモートコントロールソフトから選択することが可能です。

#### ⑦ 制御出力端子 [CONTROL G,G,4,3,2,1]

本機から外部の機器を接点出力で制御するとき使用する端子です。

#### ⑧ USB音声入出力端子 [USB]

Web会議ソフトウェアがインストールされているPCなどと接続して、USB音声を入出力する端子です。フォーマットはUSB Audio 1.0です。

#### ⑨ デジタル音声入出力端子 [PRIMARY] [SECONDARY] (RJ45) (WR-DX200DANのみ)

イーサネットケーブルを使用して、Dante機器と接続する端子 (RJ45) です。

#### ⑩ ACインレット [AC IN]

付属の電源コードを差し込みます。

#### ⑪ シグナルアース端子 [SIGNAL GND]

他機器との電位差をなくすため、各機器のSIGNAL GNDと接続します。

## 設置上のおお願い

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。



### 警告

- 工事は必ず販売店に依頼してください。
- 工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にしてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示にしたがってください。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

設置工事は電気設備技術基準にしたがって実施してください。

### 本機は屋内専用です

屋外での使用はできません。

長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。

### 本機は業務用機器です

#### 以下の場所には設置しないでください

- 直射日光のあたる場所や温風吹き出し口の近く
- 湿気やほこり、振動の多い場所
- 温度差の激しく結露しやすい場所
- ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- 塩害や腐食性ガスの発生する場所
- 水滴や水沫がかかる場所
- ケーブルなどが容易に破壊されるような場所
- 子供がいる可能性のある場所
- 一般の人が容易に触れることができる場所

#### 雑音源は避ける

- トランシーバー、トランス、調光器、CRTモニターなどからできるだけ離してご使用ください。誘導ノイズを受け取る可能性があります。
- 電灯線などの雑音源にケーブルを近づけると、ノイズが発生する場合があります。そのときは、雑音源からできるだけ離すように配線するか、本機の位置を変えてください。

#### ラックマウント設置を行うときは

ラックにマウントする場合、ラック内の温度が45℃以上にならないようにしてください。内部部品に悪影響を与え故障の原因となります。扉付きラックに設置する場合も同じです。4台以上使用する場合は、3台おきに本機1台以上のスペースを空けてください。

#### 静電気について

静電気による破損を防止するために、作業を始める前に本機以外の金属部に手を触れ、人体に帯電している静電気を放電してください。

### 取付ねじはしっかりと締める

工事で使用する取付ねじは、指定の締付トルクに従い、しっかりと締めてください。インパクトドライバーはねじを破損させる場合がありますので、使用しないでください。

### アース（接地）について

ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているか確認してください。アース端子付きコンセントを使用される場合は、接地抵抗値（100Ω以下）をご確認ください。

### 電源について

必ず保護接地された電源コンセントに接続してください。アースは、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に接続してください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してください。

本機には電源スイッチはありません。以下のいずれかの方法で電源を接続し、容易に遮断できるように設定してください。

(1) 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。電源プラグは容易に引き抜けるようにしておくこと。

(2) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除くすべての極が遮断できるものを使用する。

### 使用電源は

AC100Vです。消費電力の大きな機器（複写機、空調機器など）と同じコンセントから電源を取らないでください。

### 本機の識別および定格表示について

本機の識別および電源、その他の表示は本機の側面銘板をお読みください。

### 不要輻射について

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

### アンバランス（不平衡）接続の場合は

シャーシ電位の違いによる誘導ノイズを受けやすくなりますので、各機器間のシャーシ電位を合わせて使用してください。

- 各機器間の電源位相を合わせる
- 電源系統を統一する
- 各機器のグラウンド端子またはシャーシを接続する

## エコーキャンセラーユニットの組み込みかた

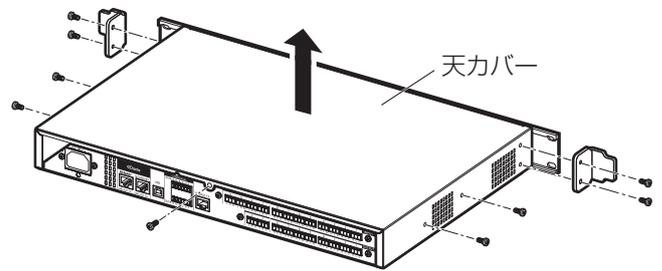
本機にエコーキャンセラーユニットWR-PC200を組み込むことで、Web会議などにおいて発生するエコーを抑圧可能な、エコーキャンセラー機能を使用することができます。また、WR-PC200には、定常的な雑音を取り除くデジタルノイズリダクション機能や、エコーキャンセラー処理などによる音量変化を自動補正するオートゲインコントローラ機能も搭載しています。詳しい使いかたは、本書の40ページと、PC用リモートコントロールソフトの取扱説明書をお読みください。



- 必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。
- 静電気は衣類や人体にも帯電していますので、作業を始める前に金属物（ラックなど）に触れるなどして、静電気を逃がしてください。
- エコーキャンセラーユニットを袋から取り出すときは、電子部品に手を触れずにプリント基板の両端を持ってください。
- エコーキャンセラーユニットWR-PC200の取扱説明書もあわせてよくお読みください。

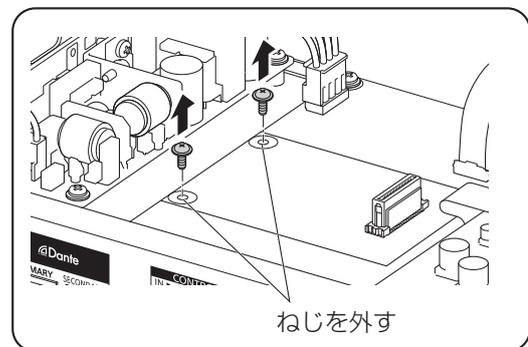
### 1 天カバーを外す

天カバーのねじ（9本）を外して、天カバーを外します。



### 2 ねじを外す

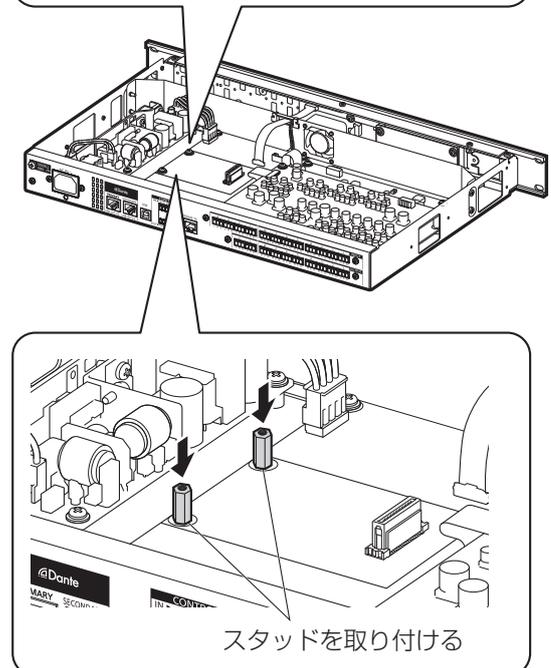
エコーキャンセラーユニットを取り付ける個所のねじを2か所外します。



### 3 スタッドを取り付ける

ねじを外した個所に、エコーキャンセラーユニットを取り付けるためのスタッド（WR-PC200に付属）を2本取り付けます。

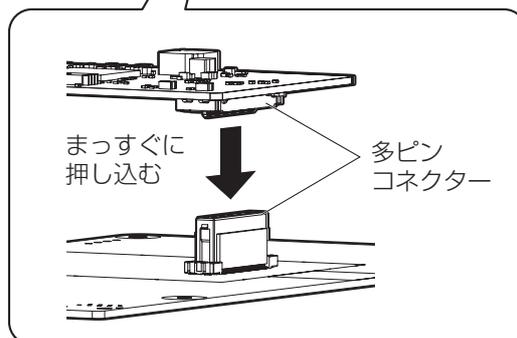
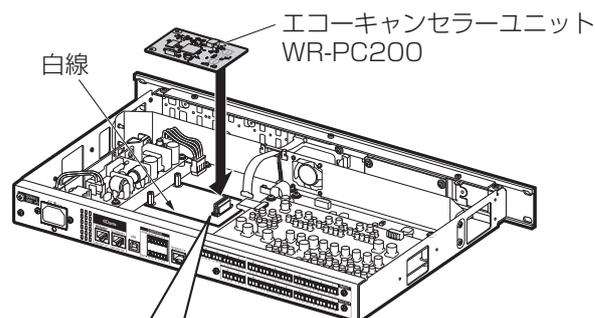
- 5.5 mm六角ドライバーを使用
- ねじ締め付けトルク：0.78 N・m



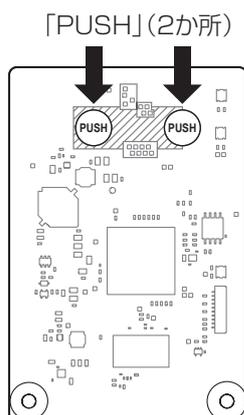
## 4 基板を装着する

本機が多ピンコネクタと、エコーキャンセラーユニットの多ピンコネクタが接続されるように、基板を、本機のエコーキャンセラーユニット位置を示す白線に合わせて水平にして、まっすぐ押し込みます。

- 斜めに押し込んだりしないよう、十分注意してください。コネクタ接続個所が奥まで押し込まれず、傾いたり浮いたりしていると、コネクタが破損する可能性があります。



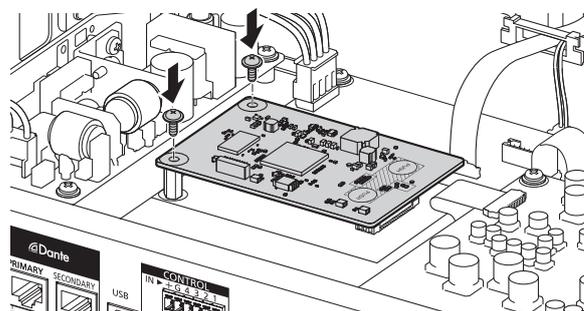
- エコーキャンセラーユニットの「PUSH」と書かれている箇所（2か所）を押して、基板をしっかりと奥まで押し込んでください。



## 5 ねじで固定する

手順2で取り外したねじを使って、エコーキャンセラーユニットとスタッドとをねじで固定します。基板が回らないよう、基板を手で固定しながらねじを締めてください。

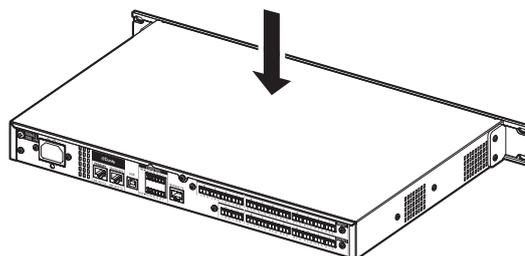
- ねじ締め付けトルク：69 N・cm～88 N・cm  
{7.0 kgf・cm～9.0 kgf・cm}



## 6 天カバーを元に戻す

天カバーを手順1で外したねじで元どおりに取り付けます。

- ねじ締め付けトルク：69 N・cm～88 N・cm  
{7.0 kgf・cm～9.0 kgf・cm}



## ラックへの取り付けかた

本機を取り付けるラックは、次のいずれかを使用してください。

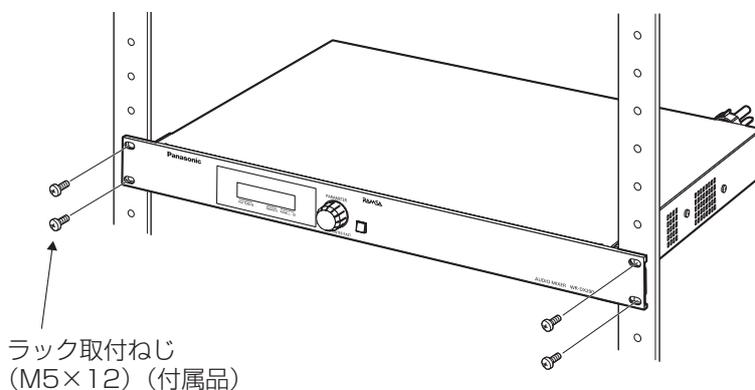
- スタンダードラック：WU-RS80 収納ユニット数29U（当社製） ※従来品のWU-RS71もお使いいただけます。
- ロングラック：WU-RL85 収納ユニット数41U（当社製） ※従来品のWU-RL76もお使いいただけます。
- EIA規格相当品：EIA19型、奥行き450 mm以上のもの

本機をラックに取り付けるときは、付属のラック取付ねじ（M5×12）4本で、確実に固定します。

ラック取付ねじ（M5×12）の締付トルクは、157 N・cm ～ 177 N・cm {16 kgf・cm ～ 18 kgf・cm} です。



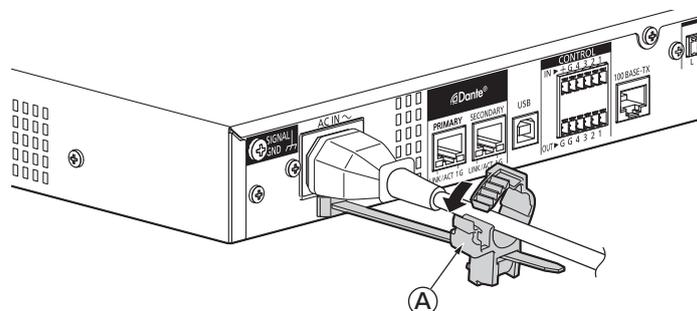
- 他社製ラックに取り付ける場合は、付属のラック取付ねじ（M5×12）4本または取り付けを行うラック側で指定のねじを用意してください。
- 本機に電源スイッチはありません。電源のON/OFFのため、ラックマウント設置の際は電源制御ユニット（WU-LP067）のご使用をお勧めします。



- 本体の不良による脱落・転倒事故以外の取り付け方法不備などによる脱落・転倒事故に対しては、弊社は一切責任を負いかねますので、取り付け場所や取り付け方法の設計は十分な注意をお願いします。
- 強度が不足する場合は十分な補強をし、安全を確認してから取り付けてください。
- 安全のため十分な脱落・転倒防止対策を施し、必ず定期的に保守点検を実施してください。
- 埋め込み設置の場合、内部温度は45℃以上にならないようにしてください。
- 設置の際、後面および側面の通風孔をふさがらないでください。

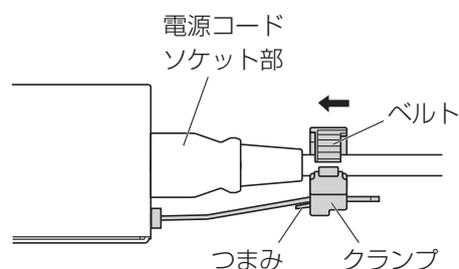
## 電源コードの取り付けかた

本機後面の電源入力端子〔AC IN〕に付属の電源コードを挿し込み、電源コードクランプで束線してください。  
 下図のように矢印の方向に電源コードをはさみ込み、①部で束線してください。



### 電源コードのクランプのしかた

- (1) 電源コードをクランプで押さえます。電源コードクランプのベルトを最後まで締めます。
- (2) 電源コードクランプの「クランプ」を図の矢印の方向にスライドさせて、電源コードのソケット部をしっかりと固定します。
- (3) 電源コードクランプを外すときは、図のクランプ部のつまみを操作して外してください。



# 接続

接続する機器側の端子については、各機器の取扱説明書をお読みください。

## コネクタ式端子台ヘッダーの接続

(以下、ヘッダーと記載します)

本機では、アナログ音声入出力と、制御入力/制御出力端子の接続に、コネクタ式端子台を使用しており、付属品のピンヘッダーに線材を接続したあと、本機に接続します。

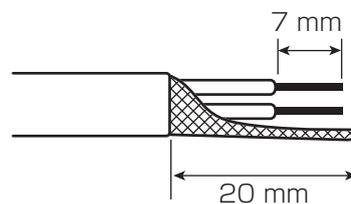
ヘッダーへ線材を接続する方法は、下記を参考に行ってください。

### 線材のむきしろ

[単線、より線]



[シールド線]



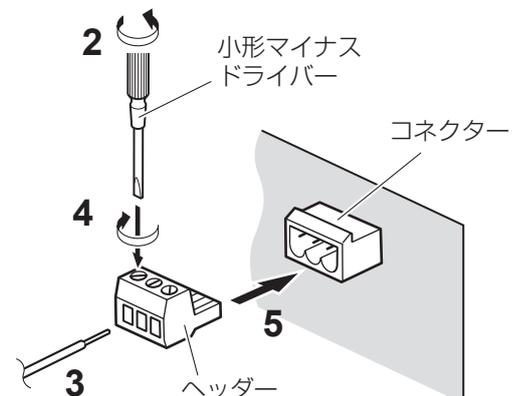
- より線、シールド線を使用するときは、むきしろ部分に半田めっきをしないでください。経年変化などで接触不良が発生する可能性があります。
- シールド線を使う場合、シールドから芯線が露出している部分が長いと、外来ノイズを受けやすくなります。上記のむきしろの長さを目安として作業してください。

### 適合線材

より線 : AWG25-16 0.14 mm<sup>2</sup>~1.5 mm<sup>2</sup>  
同じ線径のより線 (2本) : AWG28-19 0.08 mm<sup>2</sup>~0.75 mm<sup>2</sup>

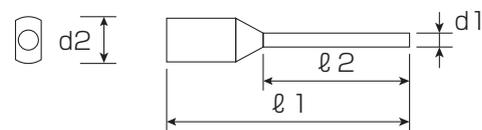
### 配線手順

1. ヘッダーを用意する (本機の付属品です)
2. ヘッダーのねじをゆるめて、ケーブル挿し込み口を閉じている金具を広げる
3. ヘッダーに先端を加工した線材を挿入する
4. ねじを締め、線材が抜けを確認する  
ねじの締め付けトルク : 0.22 N·m~0.25 N·m  
{2.2 kgf·cm~2.5 kgf·cm}  
ドライバーは刃先端が2.5 mmのマイナスドライバーを使用します。
5. 線材を接続したヘッダーをコネクタに取り付ける



1つの端子に2本の線材を接続するときは、2本線差用棒端子を使用してください。

品番	寸法 (mm)			
	d1	d2	ℓ1	ℓ2
AI-TWIN ×0.5-8WH (フェニックス・ コンタクト製)	1.5	2.5/4.7	15.0	8.0
NFW 0.5-8 (ニチフ)	1.5	2.4/4.6	15.0	8.0

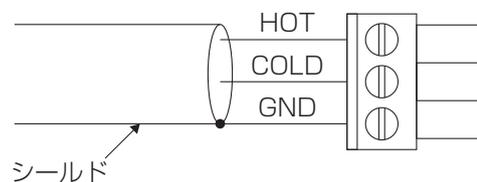


※ 3本以上の線材を接続するときは、閉端接続端子などであらかじめ線材をまとめてから端子台に接続してください。

## ■ アナログ音声機器との接続

### バランスインプット端子、バランスアウトプット端子

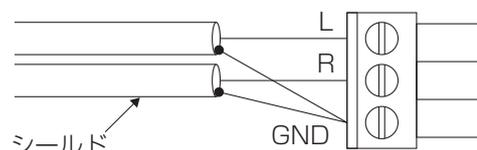
- 必ずシールド線を使用してください。また配線距離が長くなるときや、ファンタム電源を使うマイクロホンを接続する際は、誘導ノイズに強い4芯撚りシールド線 (L-4E6Sなど) を使用してください。
- 不平衡出力機器を接続する場合には、配線距離は10 m以内を目安に配線してください。平衡出力機器を接続する場合にも、配線距離は50 m以内を目安にしてください。
- アンプ出力のスピーカー線に近づけないでください。機器の動作が不安定になり、発振する場合があります。



使用ケーブル例：カナレ電気 L-4E6S

### アンバランスインプット端子、アンバランスアウトプット端子

- アンバランス伝送は誘導ノイズに弱いため、配線距離は10 m以内を目安に配線してください。
- この図は、ステレオ入出力機器との接続例です。シールド線を2本まとめてヘッダーに接続しますので、必要に応じて2本差込用棒端子をお使いください。



使用ケーブル例：カナレ電気 L-2B2AT

## ■ 制御入力端子

- 後面の制御入力端子は、以下のような機能を持っています。

接点入力	外部にスイッチを接続して、本機のパターンメモリー（32パターン）のうち1パターンの呼び出しができます。
VCA制御入力	ボリューム（可変抵抗器）を接続して、本機の音量制御ができます。 IN1～32、BUS1～16、MTX1～16からのチャンネルをVCAで制御するかを設定できます。

- 制御入力端子は4本あり、それぞれの端子に対して独立して上記の機能を設定できます。工場出荷状態では、これらの機能は無効となっています。お使いの際はPC用リモートコントロールソフトで設定を行ってください。
- 接続は、本機に付属されている、コネクタ式端子台ヘッダー（6ピン）を使用します。接続方法は16ページをお読みください。

### 接点入力

無電圧メイク接点（外部スイッチ、リレー等）またはオープンコレクタ出力回路で制御してください。

#### 【仕様】

回路形式 : トランジスタ入力

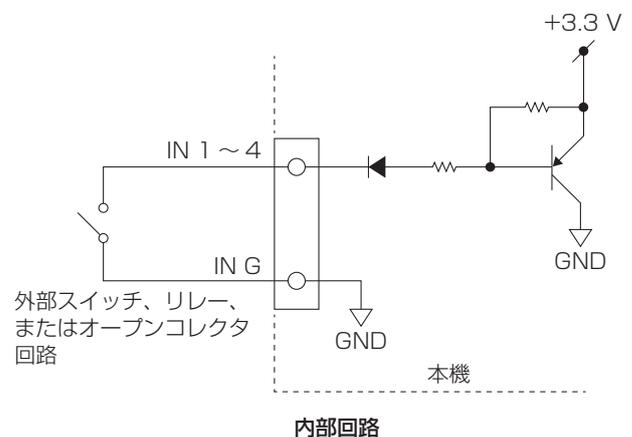
内部プルアップ : 2.7 kΩ / 3.3 V

最大入力電圧 : +24 V

推奨ケーブル : シールドケーブル

- |       |       |           |
|-------|-------|-----------|
| ON条件  | 端子電圧  | : 1 V以下   |
|       | 総合抵抗値 | : 1 kΩ以下  |
|       | ON時間  | : 50 ms以上 |
| OFF条件 | 端子電圧  | : 3 V以上   |
|       | 総合抵抗値 | : 30 kΩ以上 |

複数の接点入力を同時にONしたときには、番号が小さいほうの接点入力の設定が優先されます。



- PC用リモートコントロールソフトによるパターン読み込みなどの操作と競合した場合、接点入力でのパターン呼び出しができません。

### VCA入力

制御入力端子の電源 [ + ] と、グランド端子 [ G ] を使って外部にボリュームまたはフェーダーを接続します。

#### 【仕様】

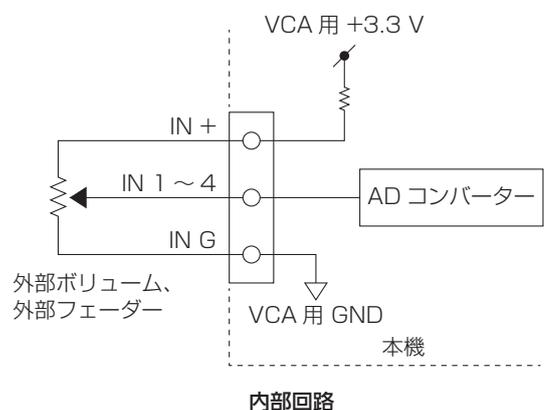
ボリューム推奨特性 : 10 kΩ Bカーブ

推奨ケーブル : シールドケーブル

許容ケーブル抵抗値 : 往復100 Ω以内



- 外部ボリューム／フェーダーの電源とGNDには、本機の制御入力端子の [ + ] と [ G ] を接続してください。
- 本機の制御入力端子 [ + ] を、VCA用外部ボリューム／フェーダー以外に電源供給しないでください。



制御入力端子のVCAで調整する対象のボリュームは、PC用リモートコントロールソフトで設定することができます。詳しくはPC用リモートコントロールソフトの取扱説明書をお読みください。

## ■ 制御出力端子

後面の制御出力端子を使って、以下のような制御を行うことができます。

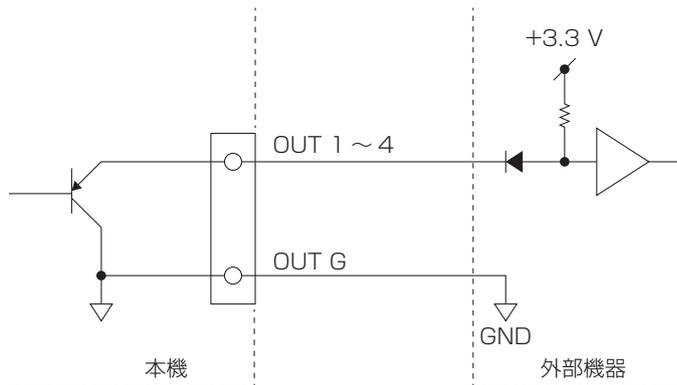
パターンメモリー 状態出力	本機の特定のパターンメモリーが呼び出された場合にメイクします。 本体の設定や機能が切り替わった場合にはブレイクします。
外部機器制御	接点出力をメイクして、他の機器を接点制御することができます。 メイクの方法としてはワンショット（500 ms間メイク）と、ステート（制御のたびにメイクとブレイクが切り替わる）の2種類が選べます。

制御出力端子は4本あり、それぞれの端子に対して独立して機能を設定できます。

また、ミキサー操作ユニット（WR-PU200：別売品）のアサインキーによって、この制御出力端子を制御することもできます。

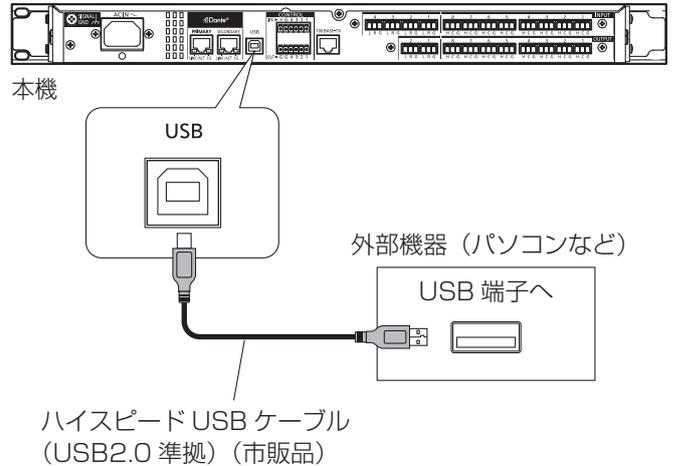
### 【仕様】

- 回路形式 : オープンコレクタ出力
- 許容最大電圧 : 24 V
- 許容最大電流 : 50 mA
- ON時出力電圧 : 0.3 V以下
- 推奨ケーブル : 一括シールド多芯ケーブル



## USBオーディオの接続

- 本機のUSB端子を外部PCのUSB端子と接続して、Web会議の音声入出力などを行うことができます。
- ドライバインストールは不要です。PCと接続するだけで、USB経由で音声を入出力できます。
- 無給電のUSB延長ケーブルは使用しないでください。
- USBケーブルの最大距離は5 mです。変換コネクタを介してUSBケーブルを接続する場合も、総延長距離が5 m以内になるようにしてください。



## PCやiPadとの接続

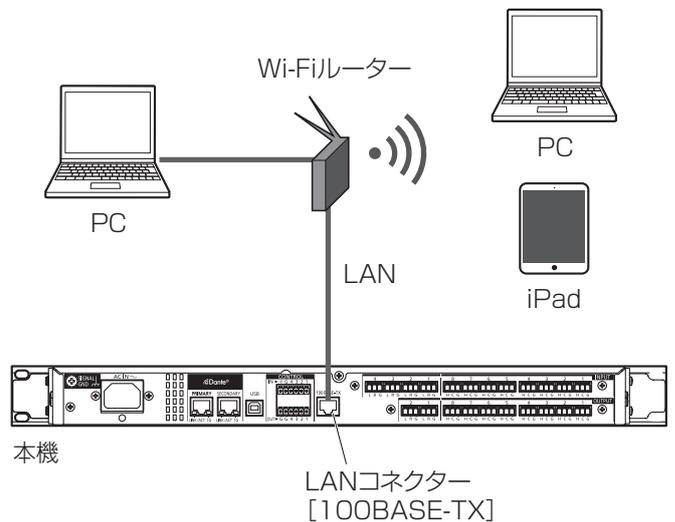
PC用リモートコントロールソフト（以下、リモートソフト）や、iPadアプリにより、オーディオミキサーおよびミキサー操作ユニットの操作をPCから行うことができます。また、ミキサー本体で設定できないパラメーターを設定、表示する機能や、システム全体のデータを保存・読み込みするデータ管理機能などがあります。

リモートソフト、およびリモートソフトの取扱説明書は、以下のURLからダウンロードできます。

[https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services\\_sound\\_dl-software-pc-wr-dx200](https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_sound_dl-software-pc-wr-dx200)

右は接続例です。

- 市販のLANケーブル（カテゴリー5e以上）を使用してください。
- LANケーブル（市販品）の最大長は、100 mです。
- ストレートケーブル・クロスケーブルのいずれでも使用可能です。
- 外部にWi-Fiルーターを接続することにより、Wi-Fi経由での制御も可能です。



PCおよびiPad接続用ネットワークは、デジタル音声入出力端子（Dante接続端子）で使用するネットワークとは、別のネットワークを使用してください。

## Dante®接続 (WR-DX200DANのみ)

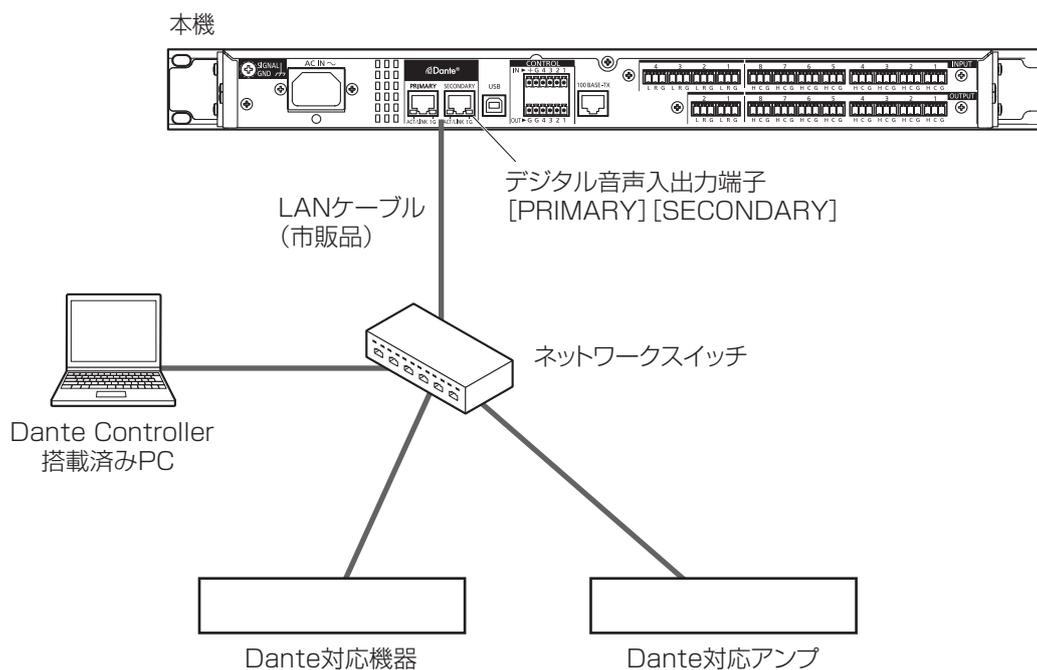
WR-DX200DANには、Dante®プロトコルを使用した16チャンネル入力、16チャンネル出力の音声通信が可能なデジタル音声入出力端子を搭載しています。

### ■ Dante®について

Dante®とは、Audinate社が開発したプロトコルで、ギガビットイーサネット対応のネットワーク環境で、サンプリング周波数/ビットレートが違う複数のオーディオ信号や、機器のコントロール信号を同時に扱える特長を持っています。

Dante®の詳細については、Audinate社のウェブサイトをご参照ください。

<http://www.audinate.com/>



重要

- Dante接続を有効にするには、Dante Controllerを搭載しているPCが必要です。
- Danteで使用するネットワークは、リモコンソフトで使用するネットワークとは、別のネットワークを使用してください。
- ネットワークスイッチは、以下の機能を持つレイヤー2スイッチを使用してください。
  - ① ギガビット パケット転送機能
  - ② 4つの絶対優先キューを持つDiffserv (DSCP) QoS機能
  - ③ スイッチの設定や状態をモニターできる管理機能
  - ④ EEE (Energy Efficient Ethernet) や省電力モードをOFFにできる機能
 スイッチの設定および操作方法については、スイッチの取扱説明書をお読みください。
- LANケーブル (市販品) は、カテゴリ5e以上を使用してください。
- LANケーブル (市販品) の最大長は100 mです。

### ■ Dante Controller について

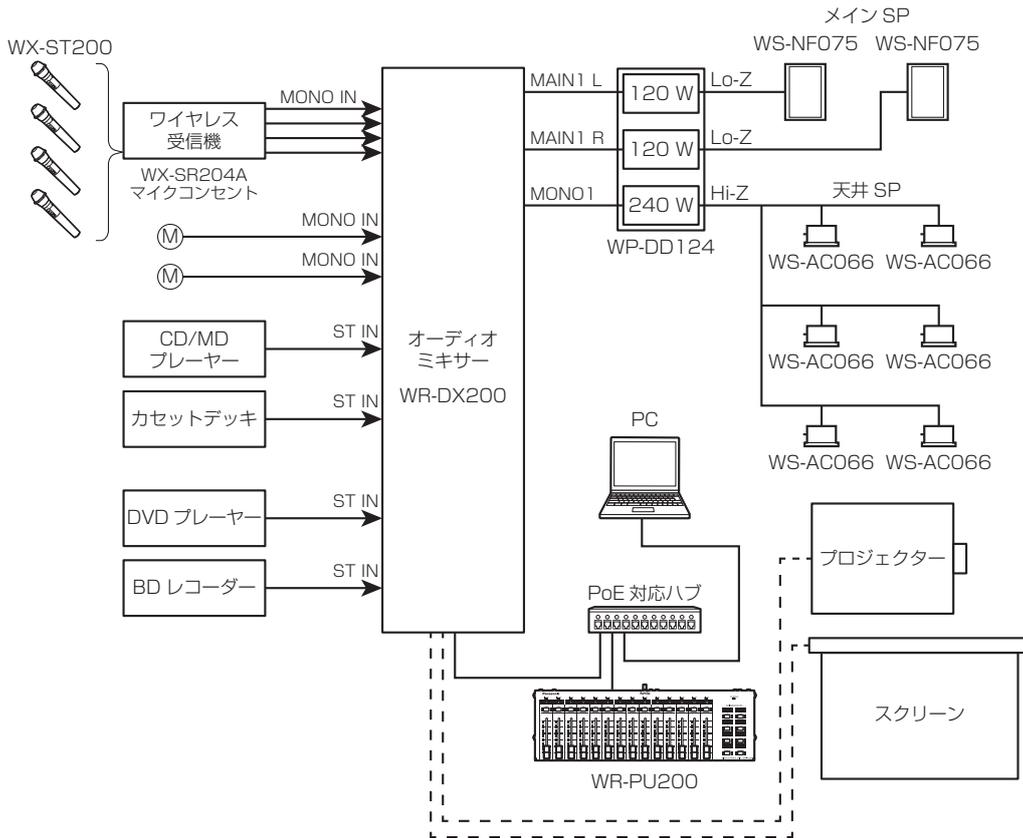
Dante Controllerは、Dante®ネットワークの設定とオーディオのルーティングをするためのアプリケーションソフトです。Dante®ネットワーク上の複雑な信号経路を設定する場合は、Dante Controllerを使います。Audinate社のウェブサイトをご参照ください。

- DanteファームウェアアップデートやDante Domain Managerでの設定を実施したあとは、本機を再起動してください。

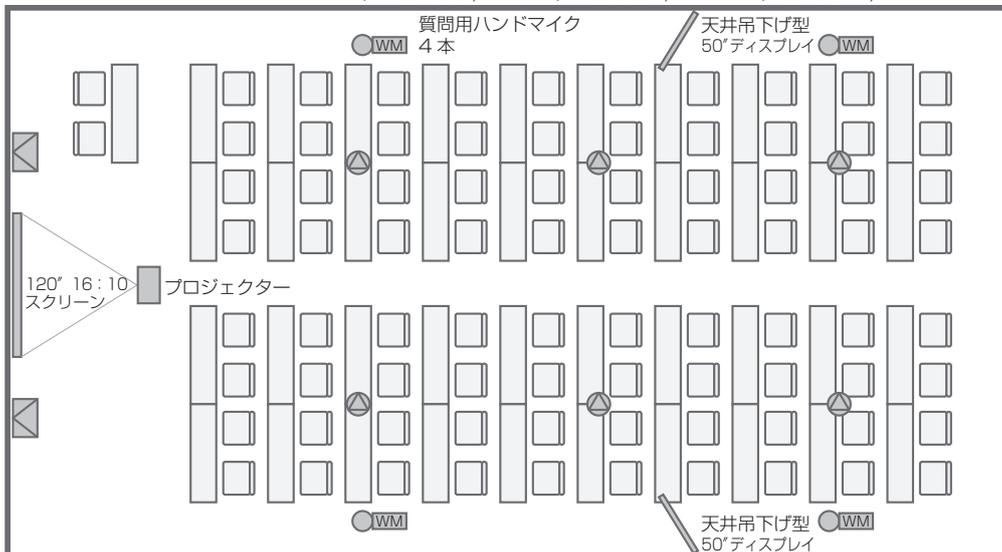
# システム接続例

## 1. 中講義室の場合

- 明瞭度の高いスピーチ拡声  
適切なイコライザー設定、ハウリング抑制機能により安定した明瞭な拡声を行えます。
- ミキサー操作ユニット（WR-PU200：別売品）によりプロジェクターなどの機器制御が可能  
ミキサー操作ユニットのアサインキーにプロジェクター／フラットパネルの電源ON/OFF、SHUTTER、スクリーンの昇降制御などコマンドの割り付けが可能。
- すべての音声入力について自由に出力先を設定可能  
入力信号ごとに出力先を自由に設定できるため、AVソースはメインスピーカーのみへ、マイク音声は天井スピーカーへも出力といったように、ソースの種類に応じて適切なスピーカーから出力させることができます。  
39ページ、60ページもあわせてお読みください。



横 10 m × 奥行 18 m = 180 m<sup>2</sup>    ◐ : 天井 SP (WS-AC066)    ◑ : メイン SP (WS-NF075)    ● WM : ハンドマイク (WX-ST200)

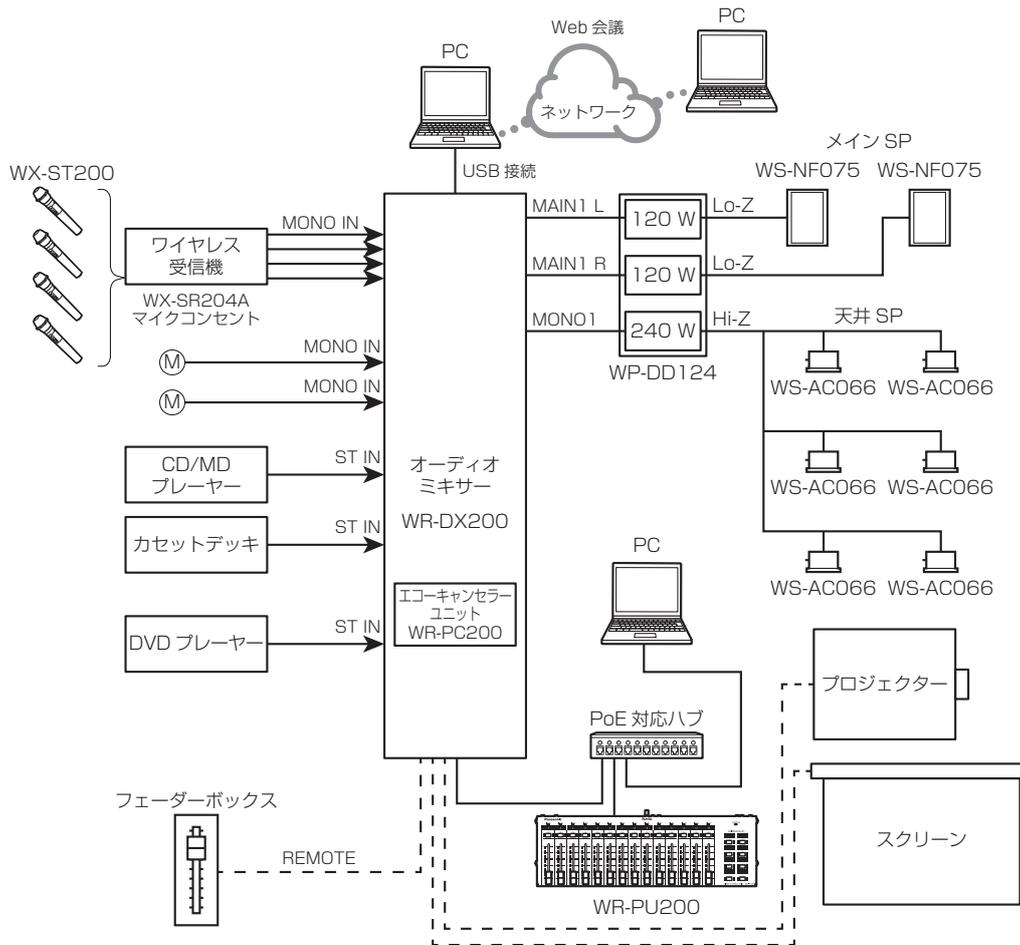




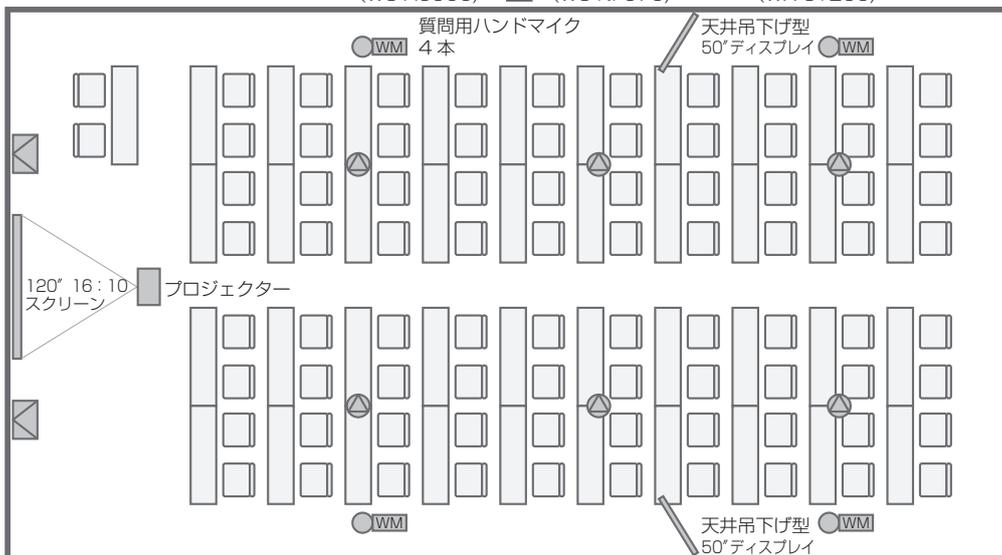
# システム接続例

## 3. 中講義室+オンライン講義の場合

- 明瞭度の高いスピーチ拡声  
適切なイコライザー設定、ハウリング抑制機能により安定した明瞭な拡声を行えます。
- ミキサー操作ユニット (WR-PU200 : 別売品) によりプロジェクターなどの機器制御が可能  
ミキサー操作ユニットのアサインブルキーにプロジェクター/フラットパネルの電源ON/OFF、SHUTTER、スクリーンの昇降制御などコマンドの割り付けが可能。
- USB入出力とエコーキャンセラー機能によって、リアル講義とオンライン講義とのハイブリッド運用に対応  
エコーキャンセラーユニット (WR-PC200 : 別売品) を追加することで、8入力チャンネルに対してAEC (Acoustic Echo Canceller) 機能が利用でき、オンライン講義においてもエコーのない適切なコミュニケーションが可能。  
39ページ、61ページもあわせてお読みください。

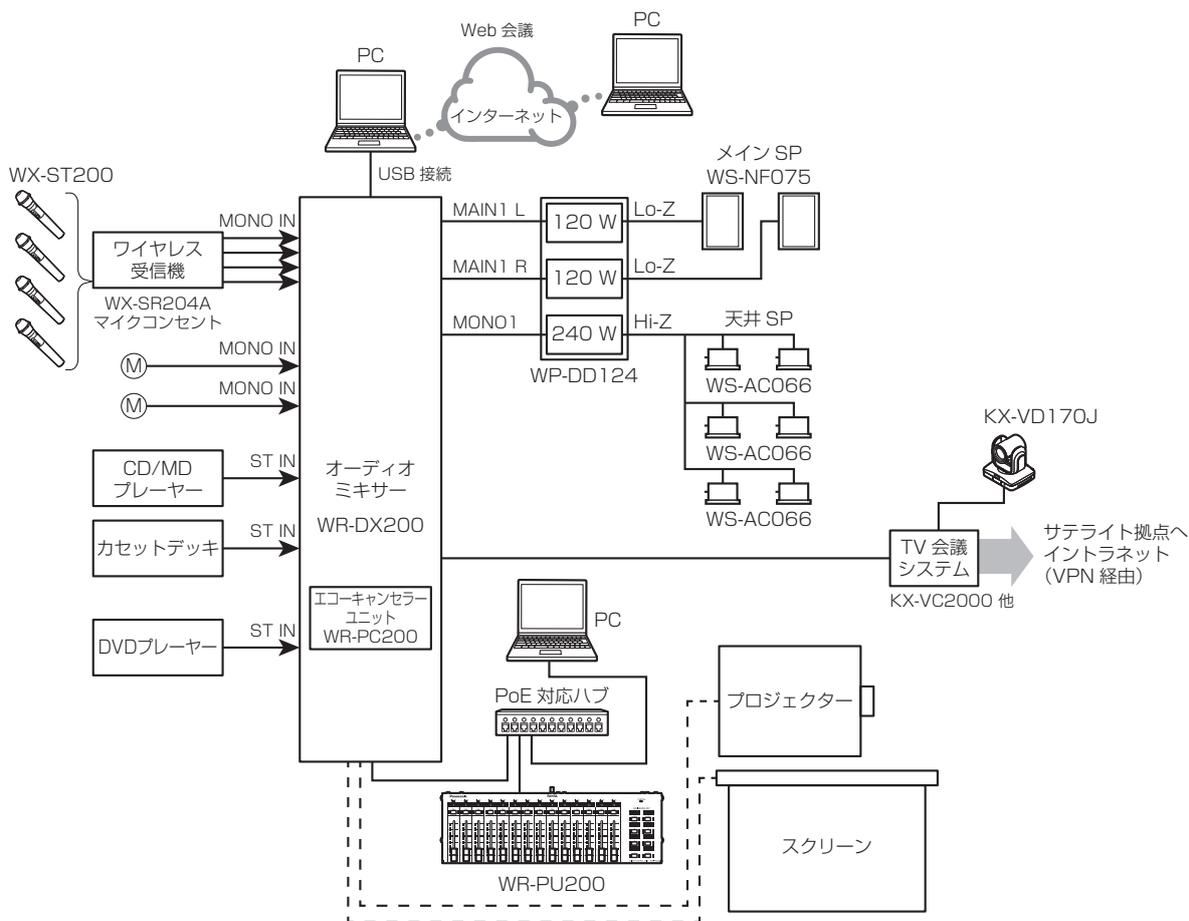


横 10 m × 奥行 18 m = 180 m<sup>2</sup>    ● : 天井 SP (WS-AC066)    ◀ : メイン SP (WS-NF075)    ● WM : ハンドマイク (WX-ST200)

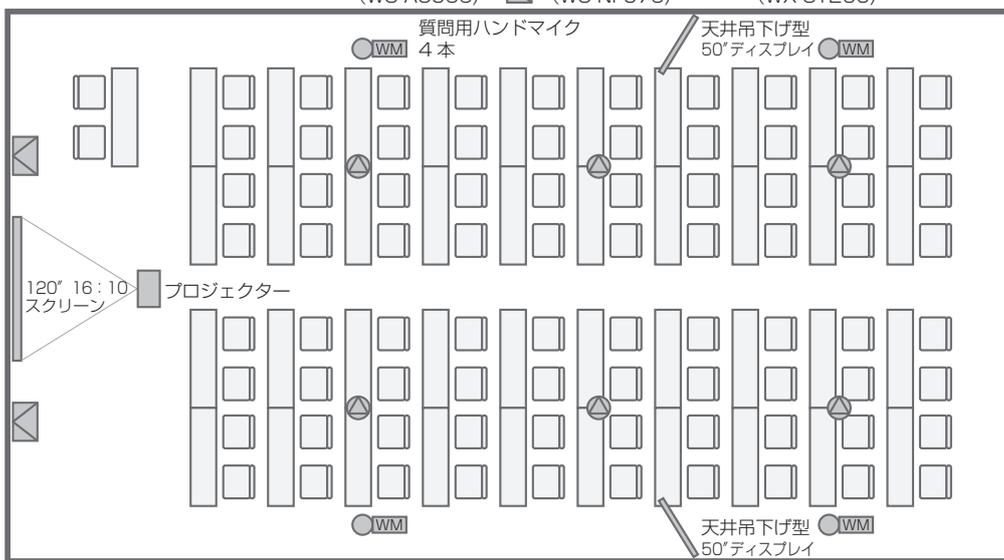


#### 4. 中講義室+オンライン講義+TV会議システムの場合

- 明瞭度の高いスピーチ拡声  
適切なイコライザー設定、ハウリング抑制機能により安定した明瞭な拡声を行えます。
- ミキサー操作ユニット (WR-PU200：別売品) によりプロジェクターなどの機器制御が可能  
ミキサー操作ユニットのアサインブルキーにプロジェクター/フラットパネルの電源ON/OFF、SHUTTER、スクリーンの昇降制御などコマンドの割り付けが可能。
- USB入出力とエコーキャンセラー機能によって、リアル講義とオンライン講義とのハイブリッド運用に対応  
エコーキャンセラーユニット (WR-PC200：別売品) を追加することで、8入力チャンネルに対してAEC (Acoustic Echo Canceller) 機能が利用でき、オンライン講義においてもエコーのない適切なコミュニケーションが可能。
- TV会議システムと連携し、専用回線による安定した帯域を確保することで、高品位のオンライン講義を提供可能  
39ページ、61ページもあわせてお読みください。



横 10 m × 奥行 18 m = 180 m<sup>2</sup>    △ : 天井 SP (WS-AC066)    ▽ : メイン SP (WS-NF075)    ●WM : ハンドマイク (WX-ST200)



# 基本操作

## 本機の電源の入れかた／切りかた



- 過大出力によるスピーカーの破損や、突然大きな音が出て耳を痛めるなどのけがを防止するために、下記の手順を必ずお守りください。

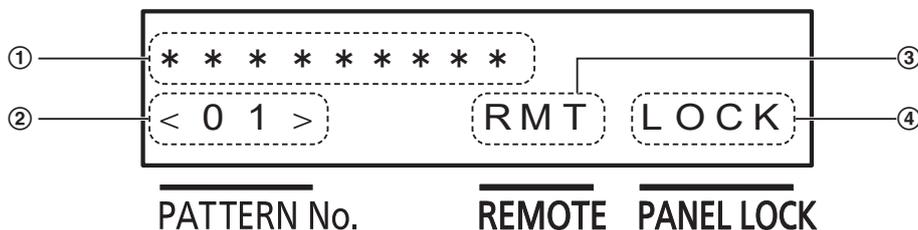
電源を入れるときは、入力機器 → 本機 → アンプ の順に入れる

電源を切るときは、アンプ → 本機 → 入力機器 の順に切る

- 本機は電源スイッチがありませんので、電源プラグを電源制御ユニットWU-LP067に接続し、電源制御ユニットを操作することによって電源を入／切することをお勧めします。  
WU-LP067をお使いいただく場合、システムでの電源入／切の順序を満たすため、以下の設定が有効です。
  - WU-LP067の後面コンセントのA系統に入力機器（CDプレーヤー、ワイヤレス受信機など）、B系統に本機、C系統にアンプを接続する。
  - WU-LP067の電源制御タイミングを、パターン③にする  
(WU-LP067電源ON → A系統ON → 5秒後にB系統ON → 55秒後にC系統ON)
- 本機は、電源を供給してから起動が完了するまでに約20秒（WR-DX200）、約30秒（WR-DX200DAN）かかります。

## 前面パネルでの操作

### ■ ディスプレイの見かた



- ① 画面の機能が表示されます。  
なお、画面の種類により、以下の②～④は表示されないことがあります。
- ② 現在、読み込まれているパターンメモリーの番号を表示する領域です。(28ページ)  
パターンメモリーが読み込まれていない状態では、< -- >と表示されます。
  - パターンメモリーについての説明は、39ページをお読みください。
- ③ PC用リモートコントロールソフトなどの外部機器によってリモート制御されているときに“RMT”と表示されます。
  - ミキサー操作ユニット（WR-PU200：別売品）との接続では“RMT”と表示されません。
- ④ ロック機能によって設定操作が無効になっているときに、“LOCK”と表示されます。(34ページ)

## ■ メニュー画面の構成

本機が起動すると、最初に「ホーム画面」が表示されます。

この画面から、ディスプレイ右のロータリーエンコーダーと、エスケープボタン [ESC] を操作することにより、画面を切り替えます。

このページに示す画面をまとめて、「メニュー画面」と呼びます。

このメニュー画面のそれぞれでロータリーエンコーダーを押すと、子画面に入り、各種設定ができます。

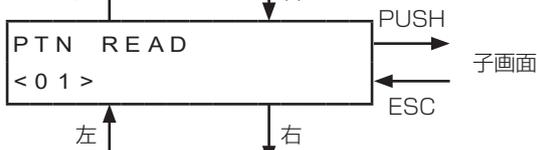
ディスプレイに“RMT”または“LOCK”と表示されているときは、ロータリーエンコーダーを押しても子画面には入れない場合があります。34ページをお読みください。

詳細は、次ページ以降で説明します。

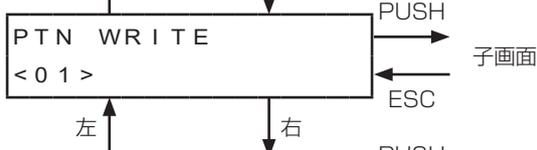
### ホーム画面



### パターンメモリー呼び出し画面



### パターンメモリー書き込み画面



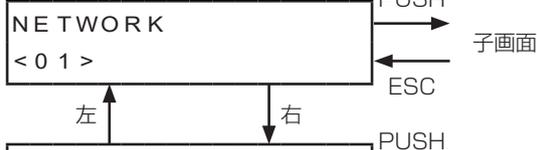
### バランス入力端子設定画面

トリム値とファンタム電源の設定を行えます。



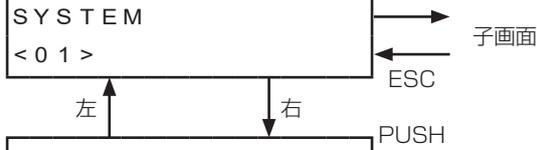
### ネットワーク設定表示画面

IPアドレス等の状態を確認できます。



### システム表示画面

ソフトウェアのバージョン表示等が行えます。

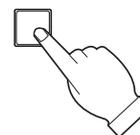
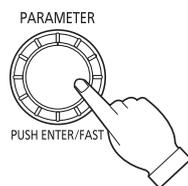
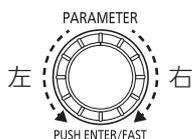


### 設定初期化画面

工場出荷設定に戻すことができます。

ホーム画面へ

## 操作について



右：ロータリーエンコーダーを右に回す  
左：ロータリーエンコーダーを左に回す

PUSH :  
ロータリーエンコーダーを押す

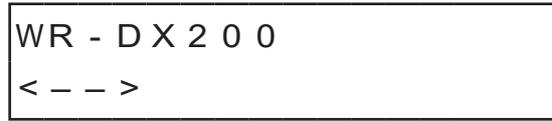
ESC :  
エスケープボタンを押す

# 基本操作

## ■ ホーム画面

上の行に、PCコントロールソフトで設定した本機の名称が表示されます。工場出荷状態では、名称は“WR-DX200”です。

下の行に、パターンメモリの番号が数字で表示されます。この画面は、名称が工場出荷状態のまま、パターンメモリが呼び出されていない状態の例です。



なお、以降の説明では、文字が点滅している部分を網掛けで表現しています。(例：01)

また、パターンメモリ番号は<##>として表現しています。(実際には、番号またはーが入ります)

## ■ パターンメモリ呼び出し画面

ディスプレイをパターンメモリ呼び出し画面にします。

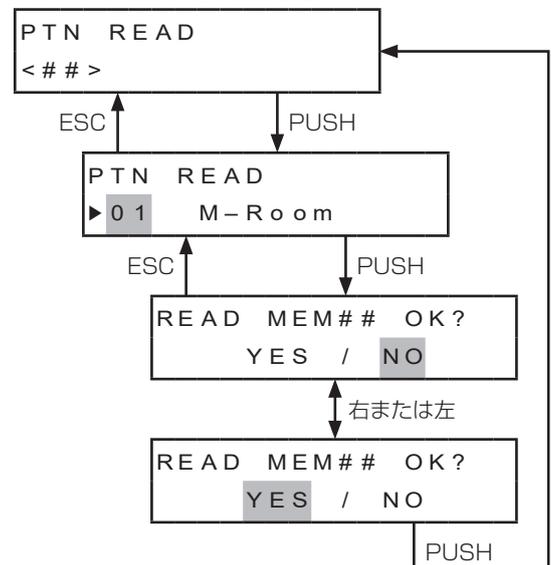
ロータリーエンコーダーを押すと、パターンNo.領域が点滅します。

ロータリーエンコーダーを左右に回して呼び出したいパターンメモリ番号が表示された状態で、ロータリーエンコーダーを押します。

変更確認の画面が表示されます。最初は“NO”が点滅していますので、変更したい場合はロータリーエンコーダーを右または左に回します。

“YES”が点滅した状態でロータリーエンコーダーを押すと、選択したパターンメモリが呼び出されます。

パターンメモリ呼び出し画面



## ■ パターンメモリ書き込み画面

ディスプレイをパターンメモリ書き込み画面にします。

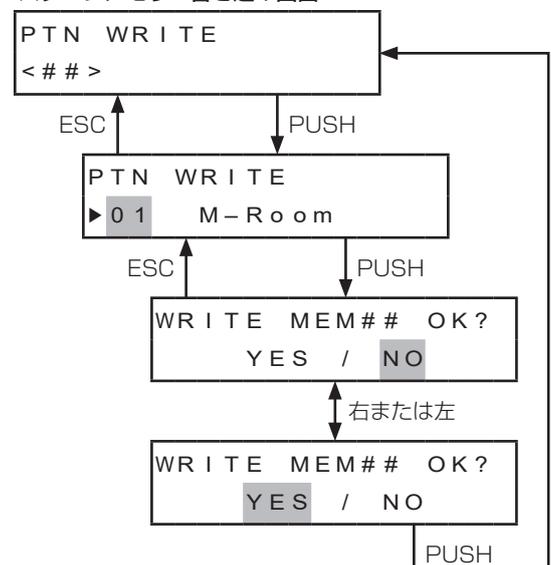
ロータリーエンコーダーを押すと、パターンNo.領域が点滅します。

ロータリーエンコーダーを左右に回して書き込みたいパターンメモリ番号が表示された状態で、ロータリーエンコーダーを押します。

変更確認の画面が表示されます。最初は“NO”が点滅していますので、変更したい場合はロータリーエンコーダーを右または左に回します。

“YES”が点滅した状態でロータリーエンコーダーを押すと、選択したパターンメモリに現在の設定状態が書き込まれます。

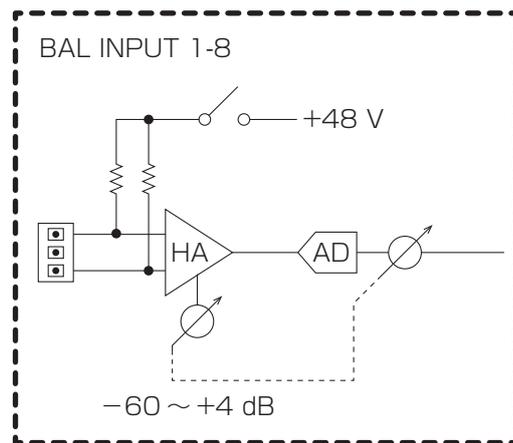
パターンメモリ書き込み画面



## ■ バランス入力端子設定画面

バランス入力端子のトリム値と、ファンタム電源のON/OFFを変更することができます。

- 系統図（42ページ）左上部分のブロックの設定です。（右図）



ディスプレイを入力端子設定画面にします。  
ロータリーエンコーダーを押すと、入力端子選択画面となり、右上の数字が点滅します。  
この画面で、設定したいバランス入力端子の番号を選びます。

ロータリーエンコーダーを押すと、入力トリム値設定画面になります。  
右の図に従ってトリム値の調整を行ってください。

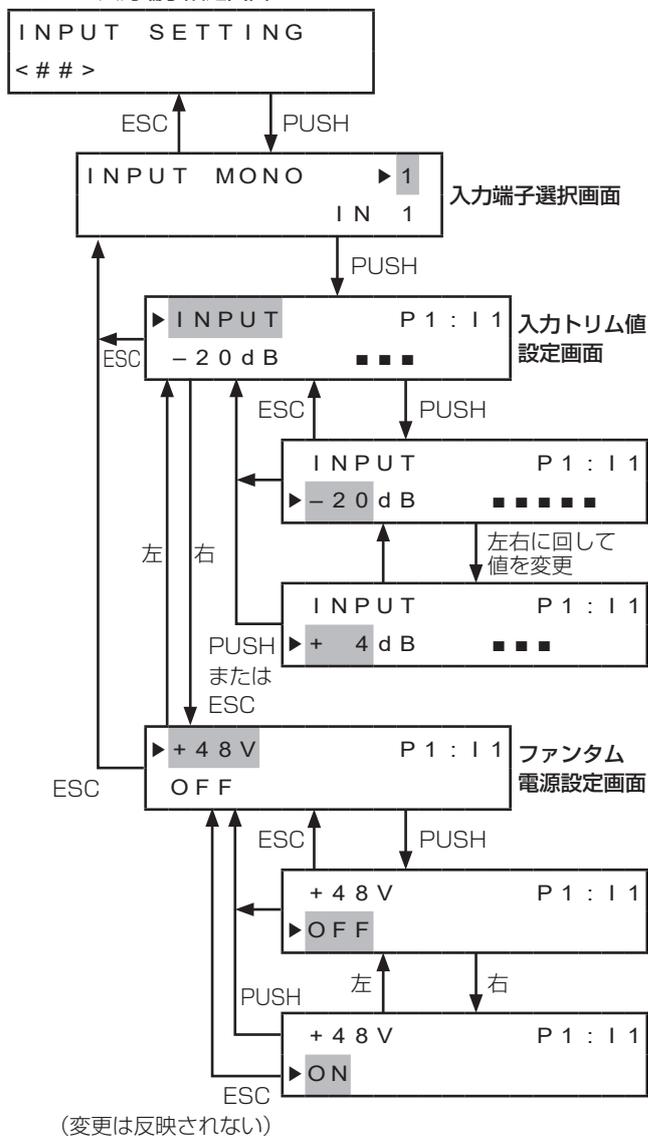
入力トリム値設定画面でロータリーエンコーダーを回すと、ファンタム電源設定画面になります。  
右の図に従ってON/OFFの設定を行ってください。

- エスケープボタン [ESC] を押すと、設定が変わらずに元の画面に戻ります。



- ファンタム電源は、ファンタム+48 Vが電源として必要なコンデンサーマイクをお使いの場合にのみONしてください。それ以外の入力機器に対してファンタム電源をONにすると、接続機器が故障する可能性があります。
- ファンタム電源をONにしたまま、本機およびマイクのコネクターを挿抜しないでください。本機の出力に大きなノイズが出ます。

バランス入力端子設定画面



# 基本操作

## 画面のみかた

### 入力端子選択画面



設定中のバランス入力端子の番号です。

設定中のバランス入力端子がパッチされているインプット／バス／マトリクス種別とチャンネル番号を表示しています。

IN：インプットch BUS：バスch MTX：マトリクスch  
複数のチャンネルにパッチされている場合は、一番数字の小さいチャンネルが表示され、右に“…”の記号が表示されます。

### 入力トリム値設定画面



設定中のバランス入力端子の番号と、設定中のバランス入力端子がパッチされているインプット／バス／マトリクスを表示しています。

(以下の説明では、数字を#で表現します)

P#：設定中のバランス入力端子番号

I#：インプットch B#：バスch M#：マトリクスch  
複数のチャンネルにアサインされている場合は、一番数字の小さいチャンネルが表示され、右に“…”の記号が表示されます。

設定中のバランス入力端子の簡易的な入力レベルメーターが表示されます。トリム値設定の目安としてお使いください。

レベルと表示の関係は、定格を0 dBとしたとき、およそ以下のとおりです。

■が5個表示される程度のレベルが、調整の目安です。

-48 dB 以下

-48 dB ~ -28 dB

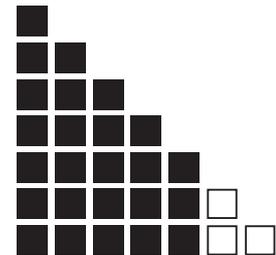
-28 dB ~ -12 dB

-12 dB ~ -4 dB

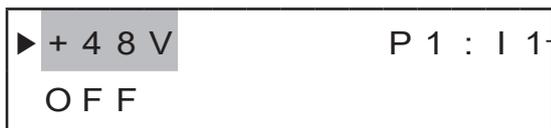
-4 dB ~ 0 dB

0 dB ~ +17 dB

+17 dB 以上



### ファンタム電源設定画面



入力トリム値設定画面と同じです。

## ■ ネットワーク設定表示画面

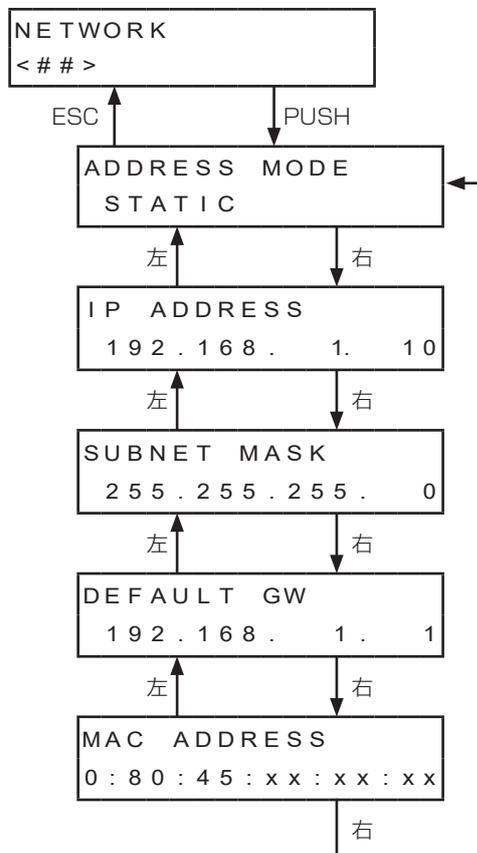
本機のネットワークの設定内容を確認することができます。  
設定はリモートソフトで行ってください。

ディスプレイをネットワーク設定表示画面にします。

ロータリーエンコーダーを押すと、子画面が表示されます。  
ロータリーエンコーダーを回すことによって、順に以下の設定内容を確認することができます。

- IPアドレス付与方法 (固定IP/DHCP)
- IPアドレス (IP ADDRESS)
- サブネットマスク (SUBNET MASK)
- デフォルトゲートウェイ (DEFAULT GW)
- MACアドレス (MAC ADDRESS)

ネットワーク設定表示画面



## ■ システム表示画面

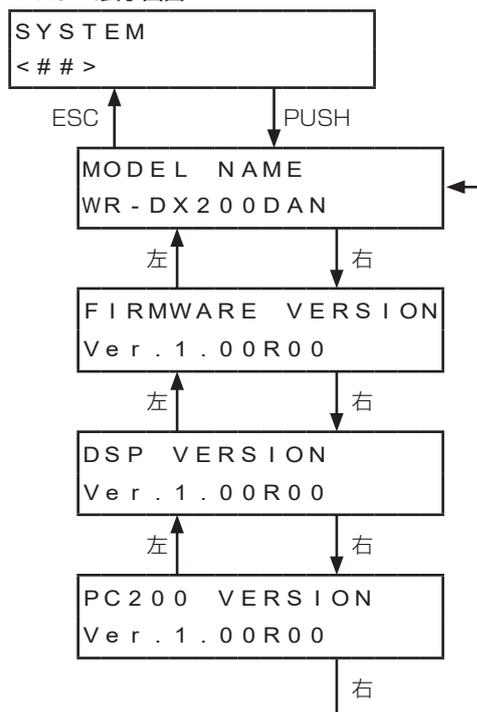
本機のソフトウェアバージョンなどを確認することができます。

ディスプレイをシステム表示画面にします。

ロータリーエンコーダーを押すと、子画面が表示されます。  
ロータリーエンコーダーを回すことによって、順に以下の設定内容を確認することができます。

- 本機の製品品番
  - CPUのソフトウェアバージョン
  - DSPのソフトウェアバージョン
  - エコーキャンセラーユニット (WR-PC200:別売品) のソフトウェアバージョン\*
- \*エコーキャンセラーユニットが組み込まれていない場合は、<EMPTY>と表示されます。

システム表示画面



# 基本操作

## ■ 設定初期化画面

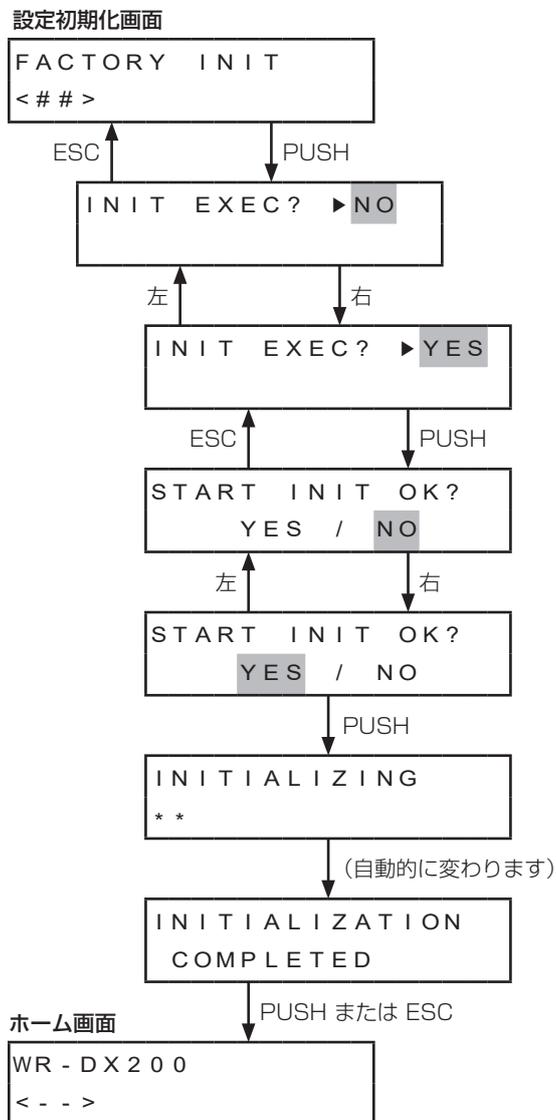
本機の内部設定を、工場出荷状態に戻すことができます。  
本機のすべての設定が消えてしまうため、必要に応じて、実行前にリモートソフトで設定のバックアップをしておくことをお勧めします。

ディスプレイを設定初期化画面にします。  
ロータリーエンコーダーを押すと、子画面が表示されます。

右の画面遷移の図に従って、

INIT EXEC? → YES  
START INIT OK? → YES

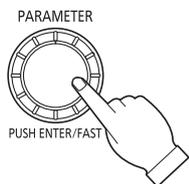
を選択すると、工場出荷状態に戻ります。  
(およそ30秒かかります)



## ■ レベルメーター画面

簡易的なレベルメーターとして、本機の音声チャンネルのレベルを確認することができます。

メニュー画面のいずれかで、ロータリーエンコーダーを2秒間長押しすると、レベルメーター画面が表示されます。



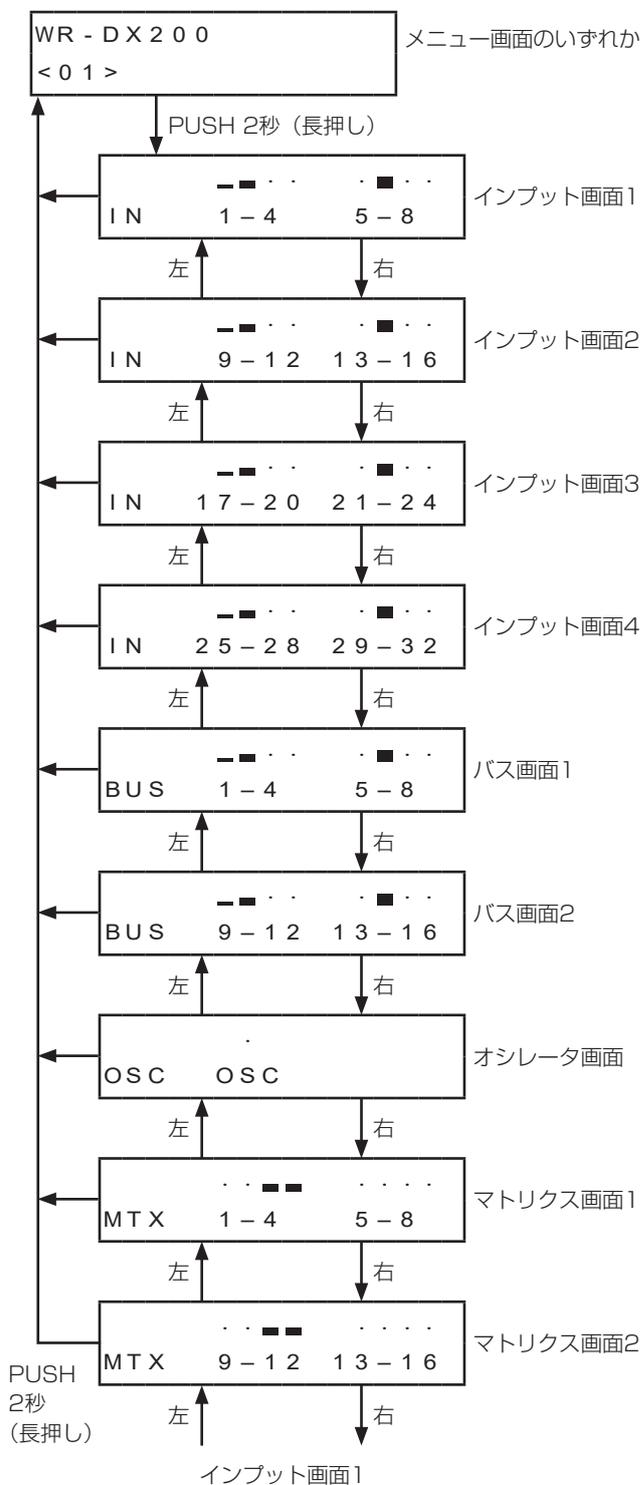
2秒間 長押し

ロータリーエンコーダーを回すことにより、以下の画面が順に表示されます。

- インット画面 1~4
- バス画面 1、2
- オシレータ画面
- マトリクス画面 1、2

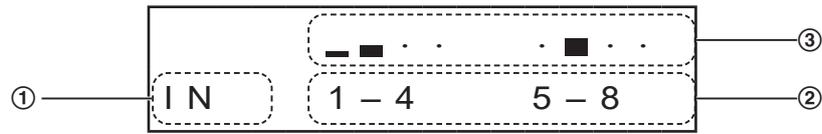
1つの画面で一度に8チャンネルが表示されます。

レベルメーター画面のいずれかで、ロータリーエンコーダーを2秒間長押しすると、メニュー画面中の「ホーム画面」に戻ります。



# 基本操作

## メーター画面の見かた



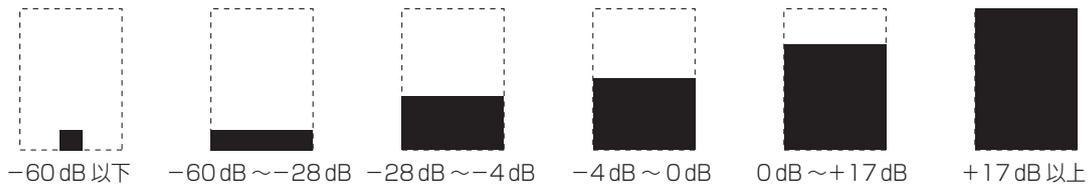
### ① 系統の種類

IN：インプット    BUS：バス    OSC：内蔵オシレータ    MTX：マトリクス

### ② チャンネル番号

### ③ メーター表示

定格レベルを0 dBとしたときの、音声のレベルと表示の関係はおよそ以下のとおりです。



- インプット画面で表示されるレベルは本機への音声入力レベルを表示しているため（プリフェーダーレベル）、入力フェーダーを絞っていても音声が入力されている場合はメーターが振れます。

## ロック機能について

本機は、本機の前面パネル操作で内部設定の変更ができないようにするロック機能を搭載しています。運用時の誤操作防止などに使用します。

ロック状態にするときは、エスケープボタン [ESC] を2秒以上押します。

ディスプレイの②の領域に“LOCK”と表示されます。

ロック状態を解除するときも、エスケープボタン [ESC] を2秒以上押します。

ロック状態では、ネットワーク設定画面とシステム表示画面のみが操作可能となり、以下の機能は使えなくなります。

- パターンメモリー呼び出し
- パターンメモリー書き込み
- バランス入力端子設定の変更
- 設定初期化

ロック状態でも、後面の接点制御入力端子を使ったパターンメモリー呼び出し機能は動作します。

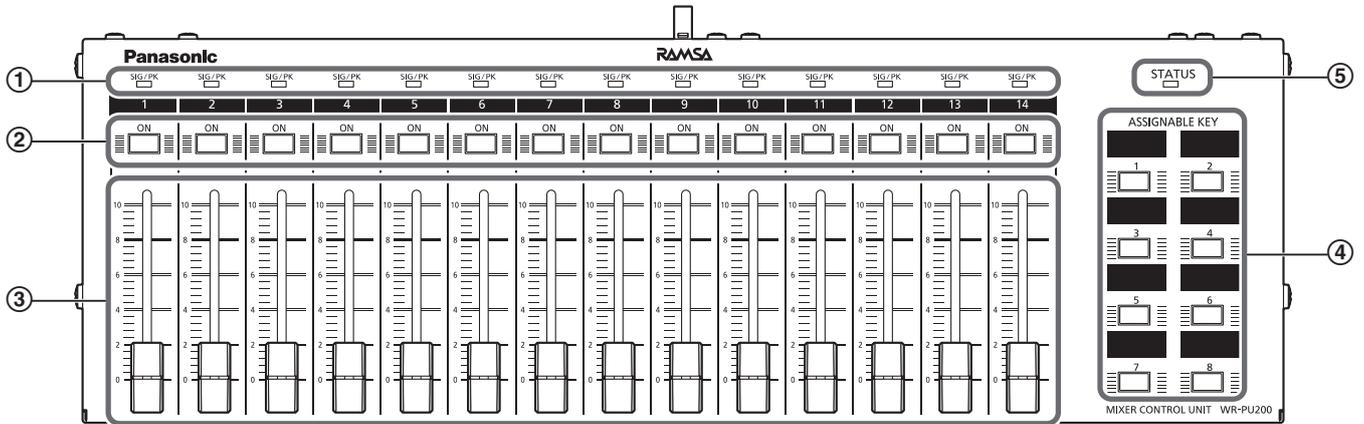
### ■ PC用リモートコントロールソフト接続時の操作制限について

本機は、リモートソフトなどの外部機器から制御されているときには、ディスプレイの③の領域に“RMT”と表示されます。このときは、ロック状態と同じく、メニュー画面のうちネットワーク設定画面とシステム表示画面のみが操作可能となります。本機がロック状態でも、リモートソフトなどの外部機器から制御を行うことができます。

# ミキサー操作ユニットについて

ミキサー操作ユニット（WR-PU200：別売品）を使って、音声系統のレベル調節やON/OFFを行うことができます。1台のWR-DX200、WR-DX200DANIに対して、最大8台を接続することができます。  
WR-PU200の取扱説明書もあわせてお読みください。

(上面)



## ① シグナル／ピーク表示灯 [SIG/PK]

音声信号レベルの有無と、ピーク状態を表示します。  
点灯しきい値は、定格レベルに対しておよそ以下のとおりです。

- 消灯：-42 dB未満
- 緑色：-42 dB ~ +18 dB
- 赤色：+18 dB 以上

## ② チャンネルON/OFFスイッチ [ON]

チャンネルの音声出力のON/OFF状態を切り替えます。  
また、スイッチの色の意味は以下のとおりです。

- 消灯：OFF
- 赤色：ON
- 橙色：ミキサー操作ユニットのフェーダー（③）の位置と、本機の音量設定が一致していないとき  
→ミキサー操作ユニットのフェーダーを動かすと、赤色点灯に戻ります。

## ③ フェーダー

チャンネルの音量を調整します。  
+10 dB ~ -∞の範囲で調整できます。

## ④ アサインابلキー [ASSIGNABLE KEY] [1] ~ [8]

リモートソフトによって、以下の機能を割り当てることができます。機能の動作中はキーが緑色に点灯します。

- 本機の外部接点出力
- パターンメモリー呼び出し
- 外部コマンド送信
- ミュートグループON/OFF
- WR-PU200のパネルロック

## ⑤ 状態表示灯 [STATUS]

LAN通信状態やエラー状態を表示します。

- 緑色：本機と正常に通信
- 赤色：エラー状態
- 橙色：本機との通信が未確立

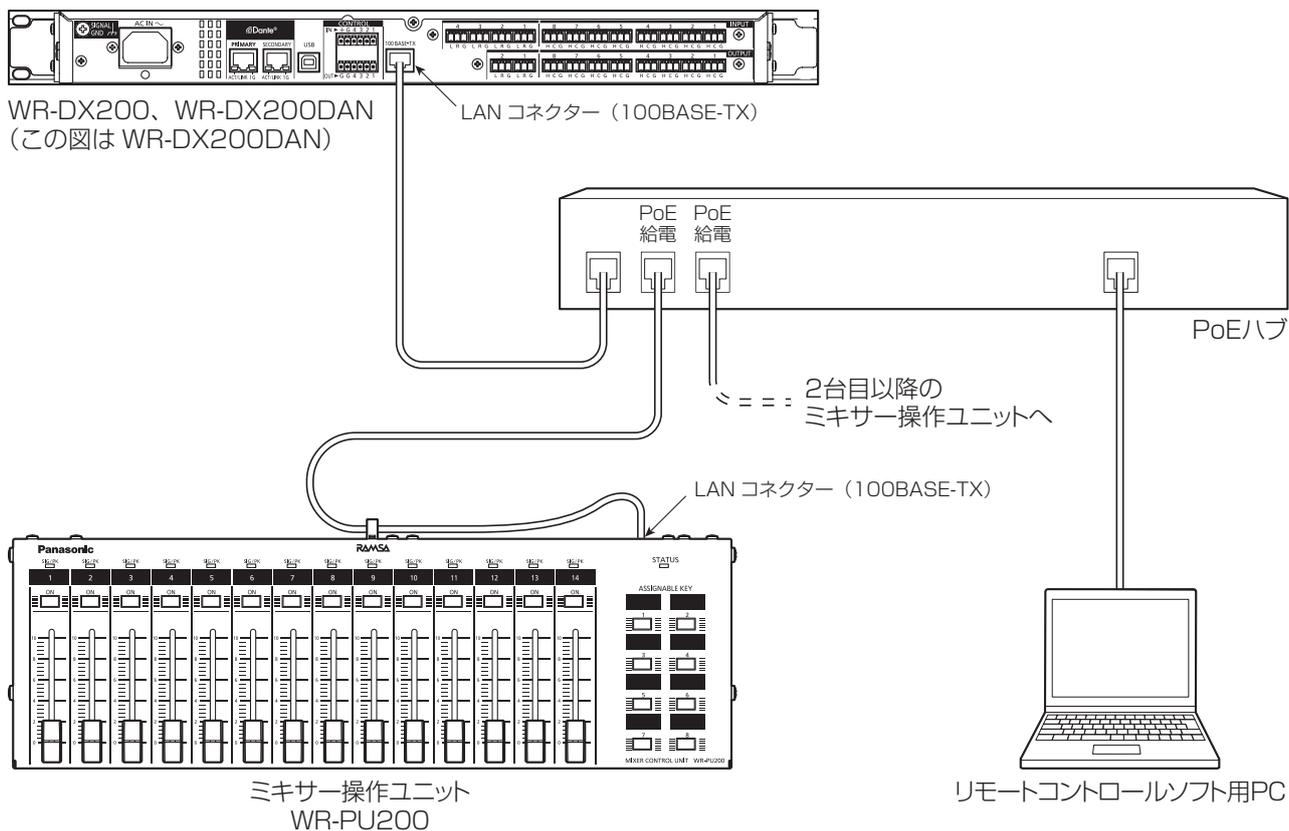
# ミキサー操作ユニットについて

## ■ 接続のしかた

以下の図のように、本機とミキサー操作ユニット、PC（リモートコントロールソフト用）を、PoEハブ、またはPoEインジェクターを経由して接続します。

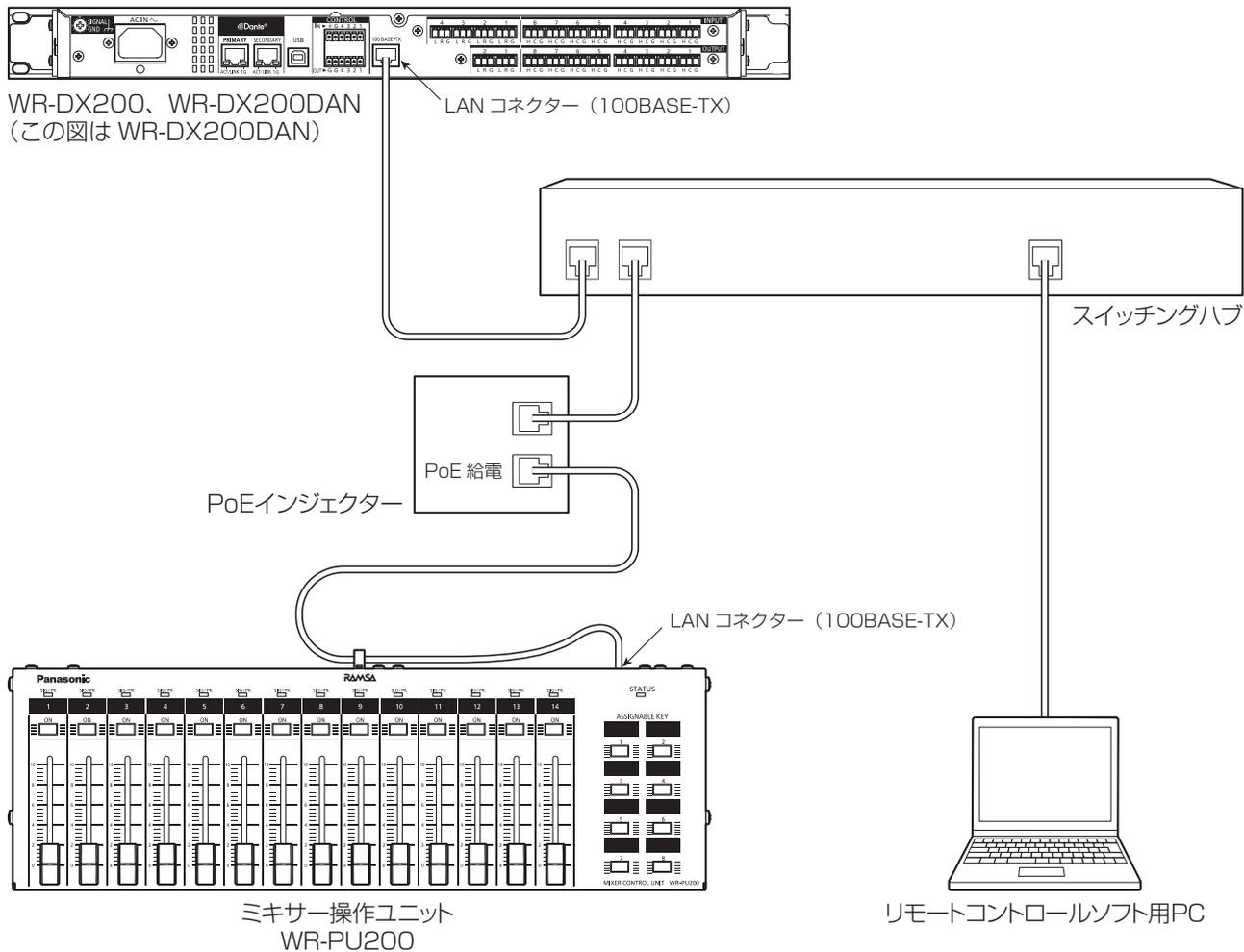
ミキサー操作ユニットには、PoEで給電をしてください。

### PoEハブを使う場合



ミキサー操作ユニットにPoE給電されると、前面の状態表示灯 [STATUS] が橙色に点灯します。  
WR-DX200との接続処理が完了すると、緑色に点灯します。

## PoEインジェクターを使う場合



ミキサー操作ユニットにPoE給電されると、前面の状態表示灯 [STATUS] が橙色に点灯します。  
WR-DX200との接続処理が完了すると、緑色に点灯します。

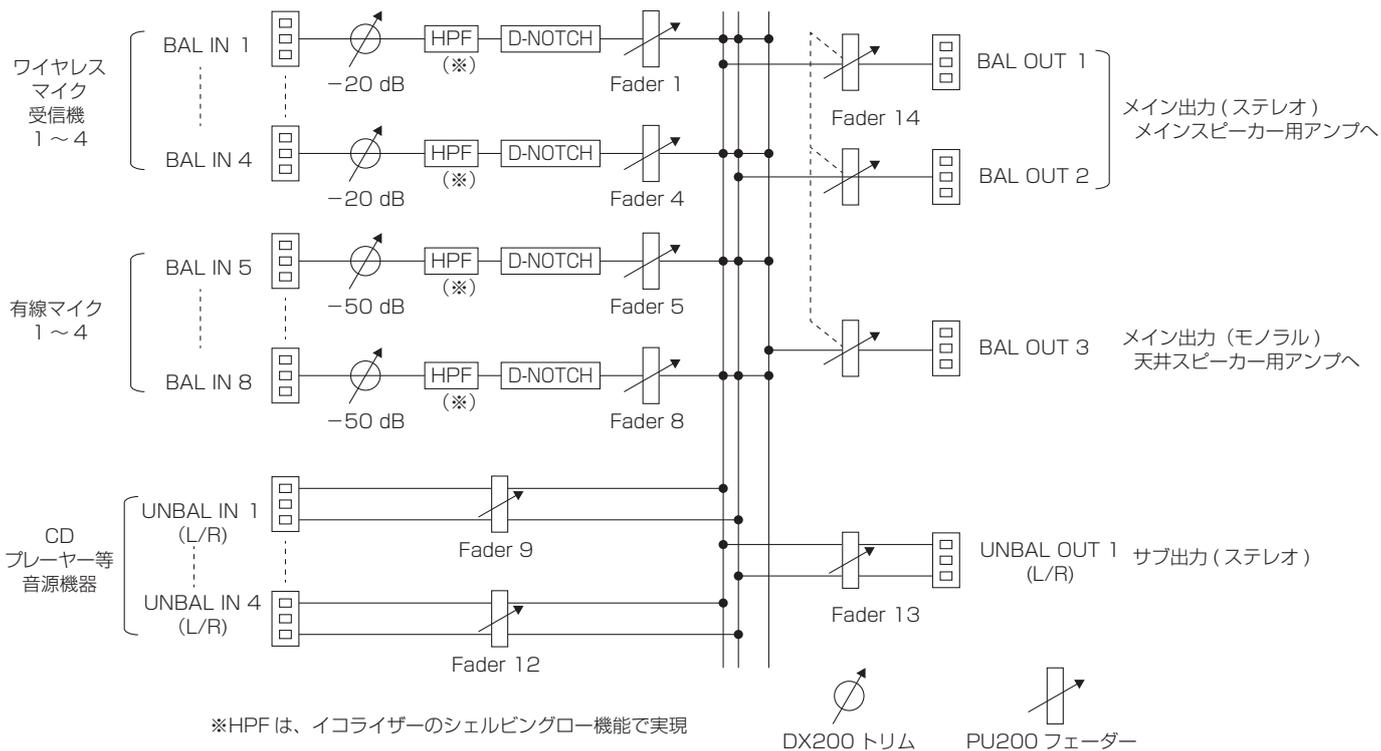
# 音を出すために

本機を使って音を出すためには、音量調整の手段として、ミキサー操作ユニットまたはPC用リモートコントロールソフトが必要です。シンプルな音響システムであれば、本機とミキサー操作ユニットだけの組み合わせでも構成可能です。ここでは、ミキサー操作ユニット1台と組み合わせたときを例に、使いかたを説明します。

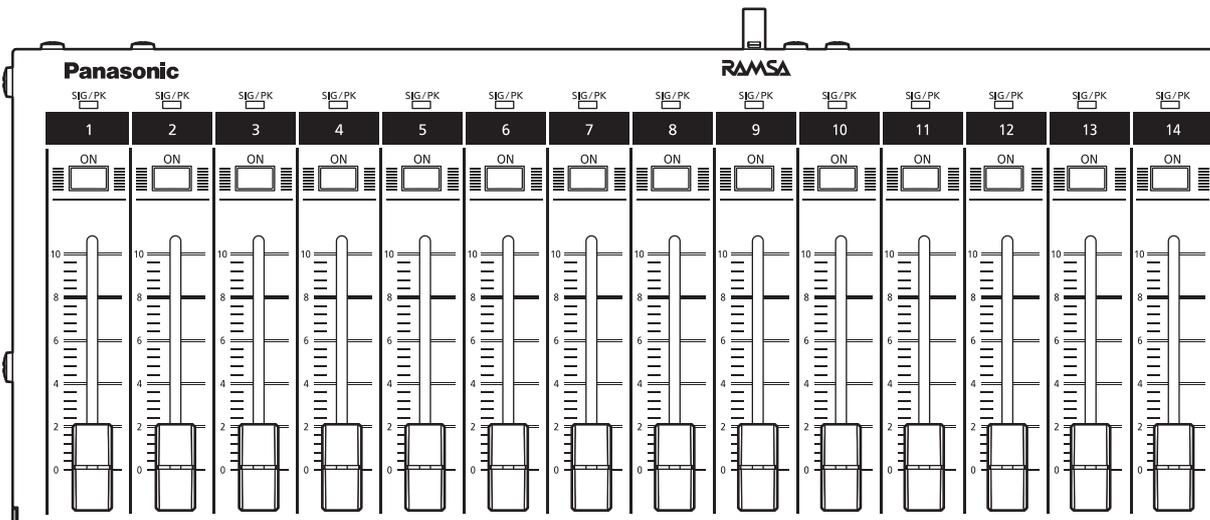
## ■工場出荷状態について

WR-DX200とミキサー操作ユニット1台を接続したときは、工場出荷状態では以下のような音声システムとなっています。

ワイヤレスマイク4本、有線マイク4本、ステレオ音源機器4台をミキシングして、メイン出力（ステレオ、モノラル各1系統）、サブ出力（ステレオ1系統）のシステムにお使いいただけます。



ミキサー操作ユニットのフェーダーとの関係は、以下のとおりです。



	INPUT												OUTPUT	
後面音声端子	BAL 1	BAL 2	BAL 3	BAL 4	BAL 5	BAL 6	BAL 7	BAL 8	UNBAL 1	UNBAL 2	UNBAL 3	UNBAL 4	UNBAL 1	BAL 1/2 BAL 3
想定用途	ワイヤレスマイク受信機				有線マイク				音源機器				サブ出力	メイン出力

基本操作

## ■ 簡単な使いかた

1. 「接続のしかた」に従って接続し、オーディオミキサーとミキサー操作ユニットに通電します。

通電直後は、ミキサー操作ユニットの状態表示灯 [STATUS] は橙色、その後緑色点灯します。



- 先にオーディオミキサーが通電されて起動中の状態で、あとからミキサー操作ユニットを接続する場合、ミキサー操作ユニットの状態表示灯 [STATUS] が緑色点灯になるまでの間は、ミキサー操作ユニットに関連づけられている音声系統はミュートされます。

2. ミキサー操作ユニットの状態表示灯 [STATUS] が緑色に点灯し、チャンネルON/OFFスイッチが点灯します。

チャンネルON/OFFスイッチが橙色に点灯しているときは、フェーダーを操作すると赤色点灯に変わります。(起動時に、ミキサー本体の音量設定とフェーダーの位置が異なっているときに橙色に点灯します。)

3. オーディオミキサーのディスプレイには、以下の表示が出ます。

```
CHANGE PASSWORD
OF WR - PU 200  OK
```

ロータリーエンコーダーを押すと (PUSH)、画面は消えます。



- この画面は、ミキサー操作ユニットに対してパスワード設定するように注意喚起するためのものです。表示されたままでもお使いいただけますが、リモートソフトでミキサー操作ユニットのパスワードを設定すると、この画面は表示されなくなります。

4. ここまでの操作で、前ページの音声系統で音を出すことができます。

トリムの値の変更や、ファンタム電源供給が必要なときは、ディスプレイの「バランス入力端子設定画面」から行ってください。



- 2台目以上のWR-PU200を接続しても何も設定されず、そのまま使用することはできません。その場合は、リモートソフトから必要な設定をしてください。

## ■ 詳細な設定をするには

本機およびミキサー操作ユニットは、他にもさまざまな機能を持っています。

これらの機能を使うためには、PC用リモートコントロールソフトを使って機能設定をする必要があります。

詳しくは、PC用リモートコントロールソフトの取扱説明書をお読みください。

また、工場出荷状態でのアサインブルキーの機能は、55ページをお読みください。

## ■ 本機のパターンメモリーについて

- 本機のさまざまな設定状態をメモリーに記憶することができます。これをパターンメモリーと呼びます。
- パターンメモリーは32個あります。本機の前面パネル操作では32個の書き込みと呼び出し、ミキサー操作ユニットでは最大8個の呼び出しが可能です。また、本機後面の制御入力端子からメモリーを呼び出すこともできます。
- 工場出荷状態では、パターンメモリーの内容は以下のとおりです。

そのままでもお使いいただけますが、イコライザー等の設定はされていません。リモートソフトでより詳細な設定を行う際のひな型としてご利用ください。

また、これらの詳細なパラメーターは60ページをお読みください。

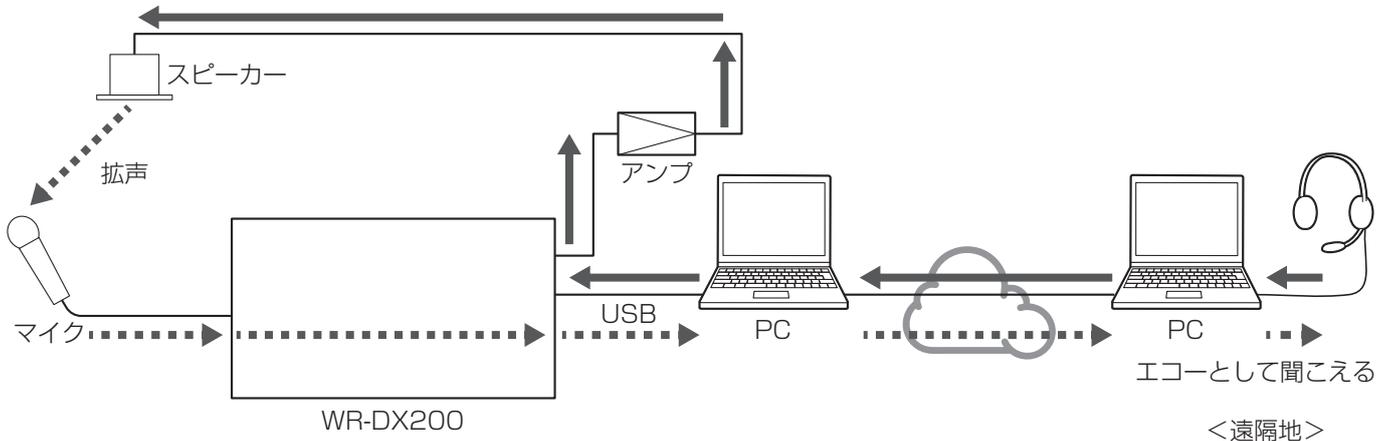
パターンメモリー1~5*	中講義室向けの音声系統 (「システム接続例」22ページ)
パターンメモリー6	大講義室向けの音声系統 (「システム接続例」23ページ)
パターンメモリー7	中講義室+オンライン講義向けの音声系統 (「システム接続例」24ページ)
パターンメモリー8	中講義室+オンライン講義+TV会議システム向けの音声系統 (「システム接続例」25ページ)

※ パターンメモリー呼び出し前の状態 (ディスプレイで<--->と表示されているとき) も同じ内容です。

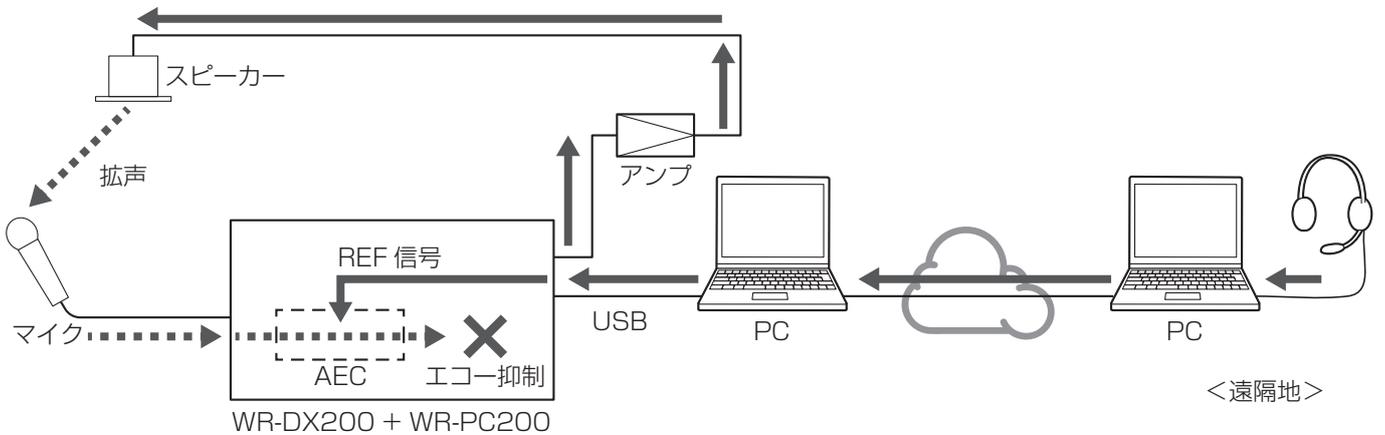
# エコーキャンセラー機能について

本機にエコーキャンセラーユニット（WR-PC200：別売品）を組み込むと、AEC機能が使えます。  
（AEC：アコースティックエコーキャンセラー）

遠隔地との間で双方向に音声伝送をするとき、マイクとスピーカーで空間拡声をすると、遠隔地の音声をスピーカーで拡声した音がマイクに入ってまた遠隔地に戻ってしまうことにより（エコー）、遠隔地側では自分の声が遅れて自分に聞こえてくるため話しにくくなり、円滑なコミュニケーションが困難となります。

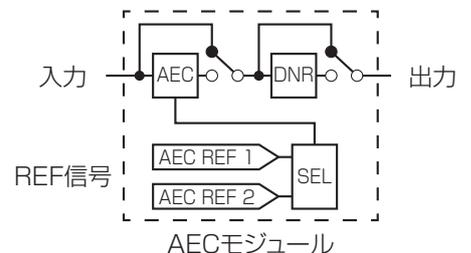


エコーキャンセラーは、もともと遠隔地からきた音声をリファレンス信号として、遠隔地に送る音声から除去することにより、エコーを抑制するための機能です。本機にエコーキャンセラーユニットを組み込むと、AEC機能が使えます。



WR-PC200では、右図のAECモジュールを8個内蔵しています。

- 任意の入力およびバスに対してAECモジュールを挿入できます。
- REF（リファレンス）信号を最大で2系統選択できるため、同時に2系統（web会議、TV会議システムなど）での遠隔音声伝送に対応できます。
- 定常的な雑音を抑制するデジタルノイズリダクション（DNR）機能や、エコーキャンセラー処理などによる音量変化を自動補正するオートゲインコントローラ機能も搭載しています。



パラメーターの設定については、PC用リモートコントロールソフトの取扱説明書をお読みください。

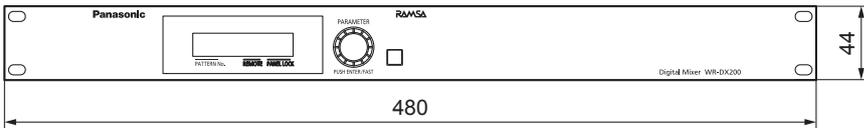
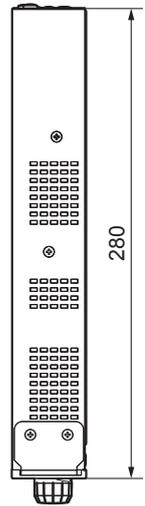
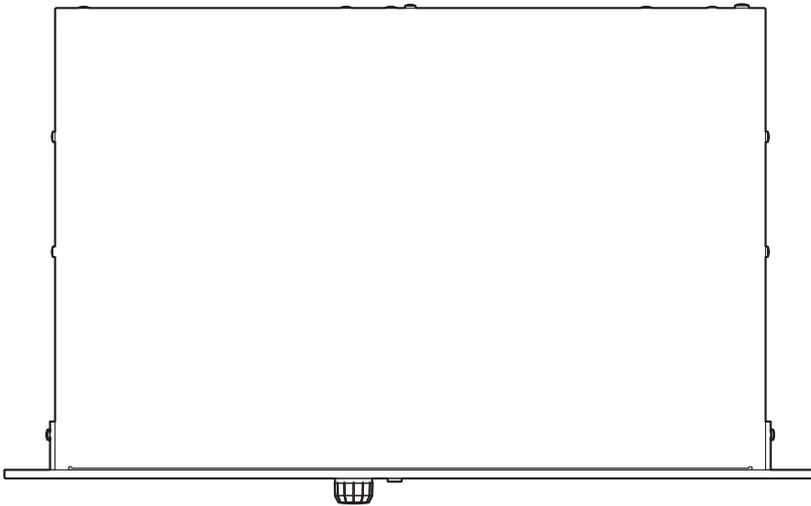
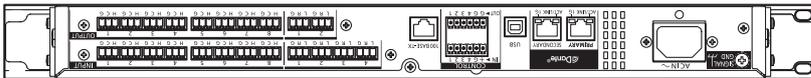
# 外形寸法図

(単位：mm)

(WR-DX200)

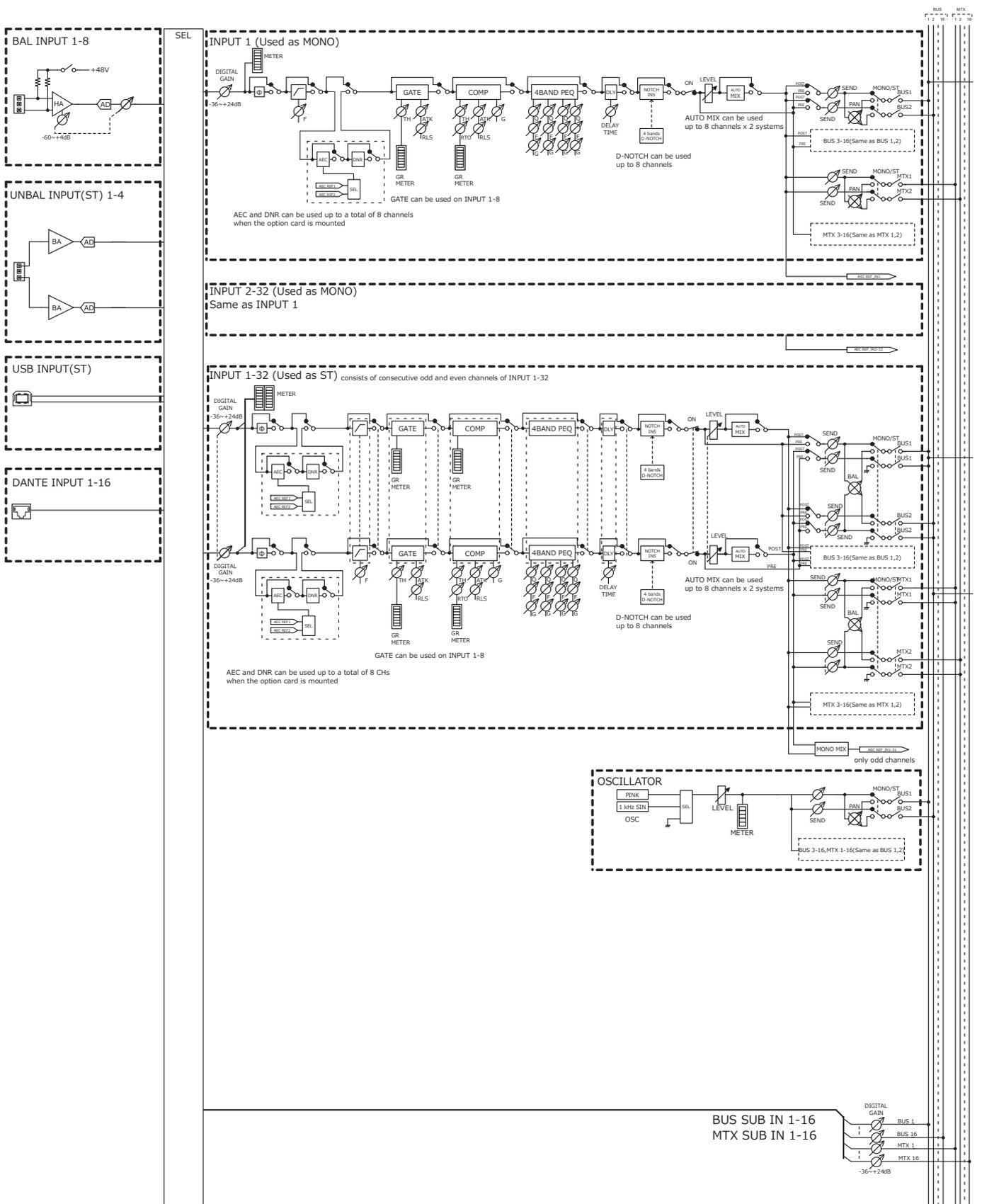


(WR-DX200DAN)

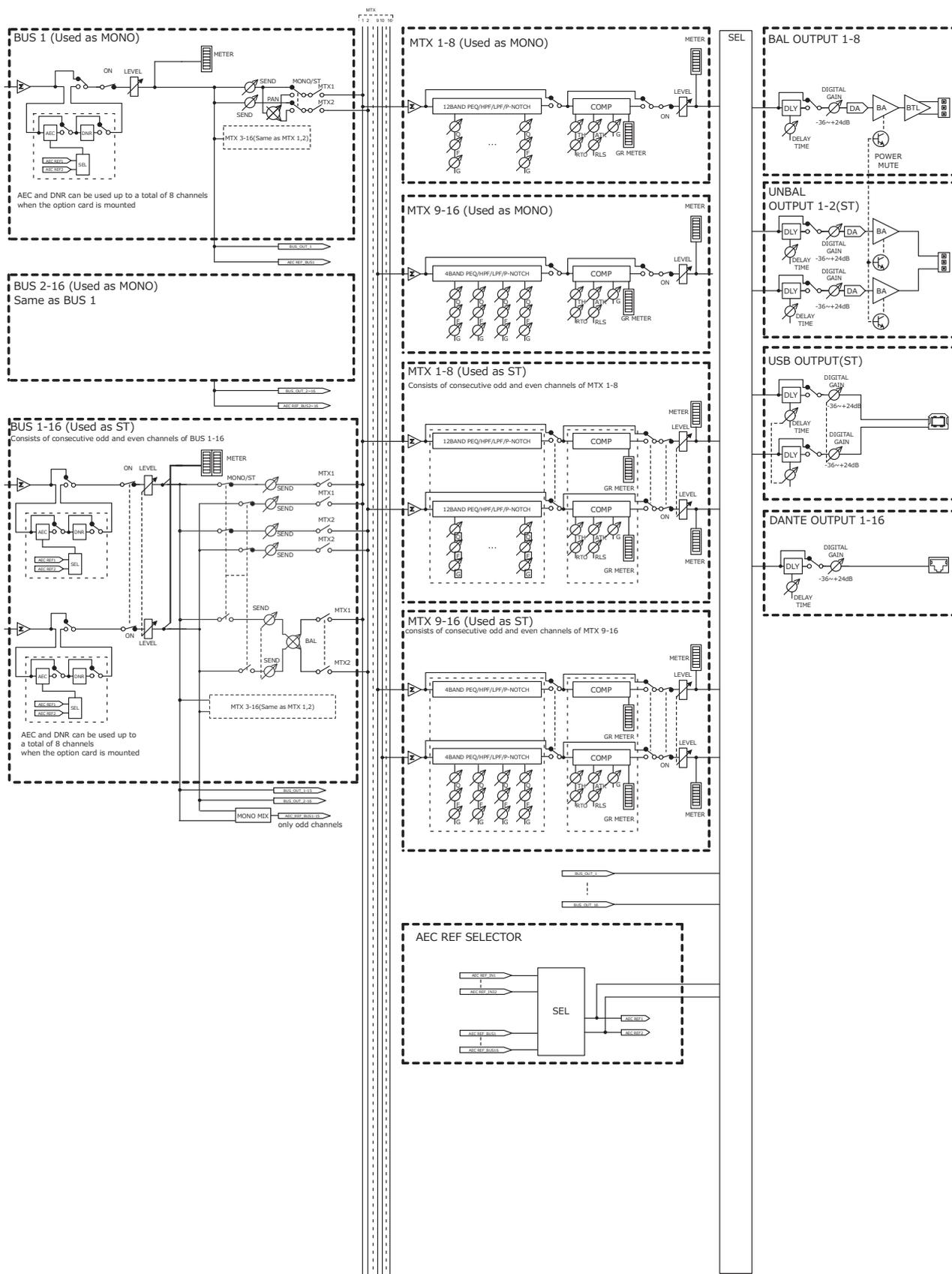


その他

# ブロックダイアグラム

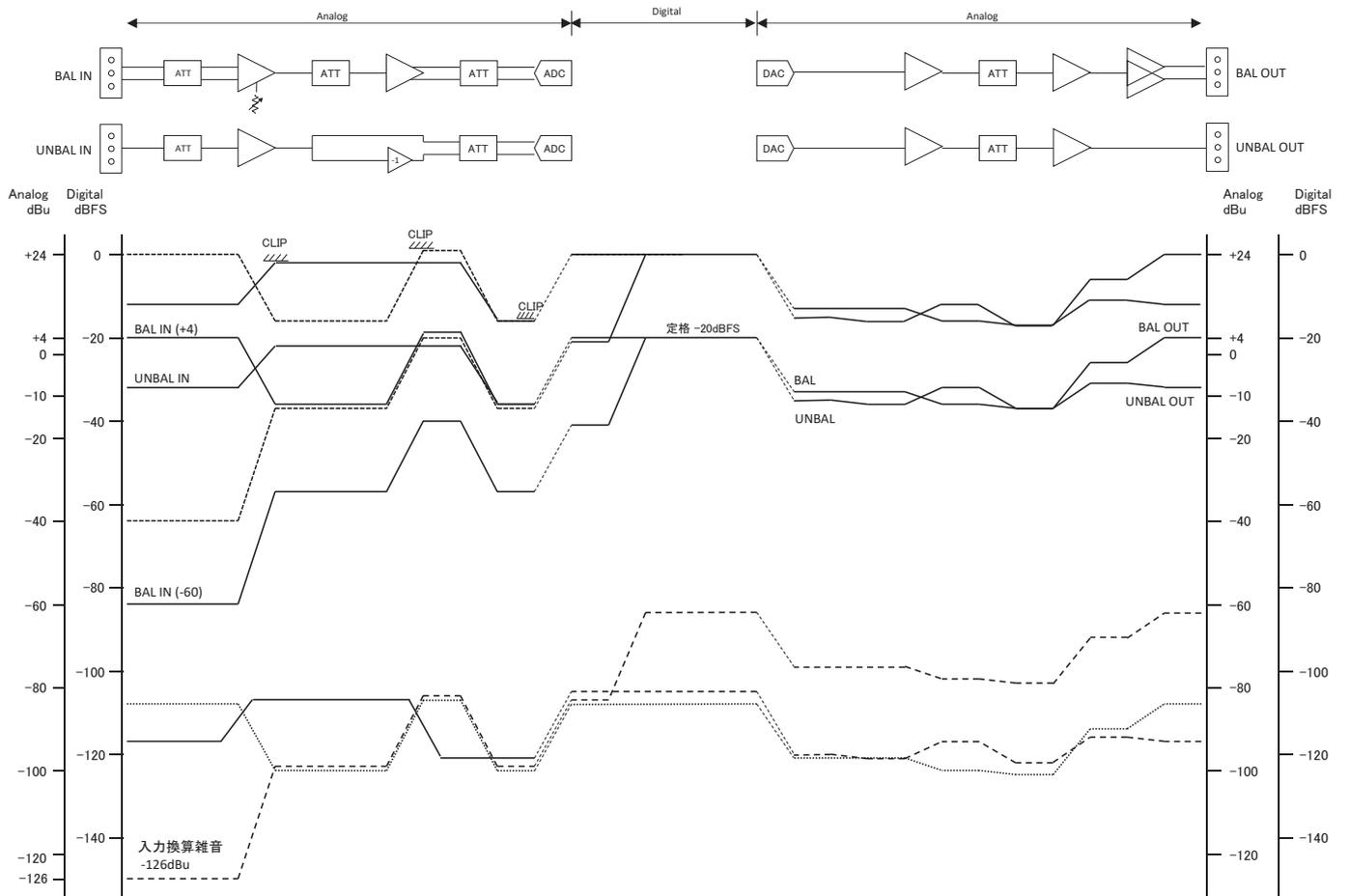


その他



その他

# レベルダイヤグラム



その他

# エラーメッセージ

いずれの場合も、ディスプレイのエラー番号をお買い上げの販売店にご連絡ください。

状 況	ディスプレイ表示	原因・対処方法
電源投入時 パターンメモリー呼び出し時 パターンメモリー書き込み時	<pre>&lt;ERROR 001&gt; MEMORY ERROR</pre>	内部メモリーに異常が発生しています。
パターンメモリー呼び出し時	<pre>&lt;ERROR 011&gt; MEMORY READ</pre>	内部メモリーに異常が発生しています。 パターンメモリー呼び出し時に発生した場合には、呼び出し前の動作を継続します。 エスケープボタンを押すと、ホーム画面が表示され運用を継続します。
電源投入時	<pre>&lt;ERROR 101&gt; DSP NO REPLY</pre>	本機内部のCPUとDSPの通信に異常が発生しています。
動作中	<pre>&lt;ERROR 102&gt; AUDIO DEV ERROR</pre>	
動作中 (エコーキャンセラーユニット 組み込み時のみ)	<pre>&lt;ERROR 201&gt; DSP NO REPLY</pre> <pre>&lt;ERROR 202&gt; AUDIO DEV ERROR</pre>	本機内部のCPUと、組み込んだエコーキャンセラーユニットとの通信に異常が発生しています。
動作中 (WR-DX200DANのみ)	<pre>&lt;ERROR 301&gt; AUDIO DEV ERROR</pre> <pre>&lt;ERROR 302&gt; AUDIO DEV ERROR</pre>	Danteに関するエラーメッセージです。 本機、外部のDante機器、Danteネットワークのいずれかに異常が発生しています。
動作中	<pre>&lt;ERROR 411&gt; FAN ERROR</pre>	ファンに異常が発生しています。 エスケープボタンを押すと、ホーム画面が表示され運用を継続します。

# 故障かな!?

## 修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原因・対策	参照ページ
音が出ない、 または、小さい	● トリムまたはフェーダーが最小になっていませんか？ → 適切なレベルに調整してください。	29、35
	● 本機と入力機器（マイク・CDプレーヤー、PCなどのUSB接続機器）は正しく接続されていますか？入力機器から音声は出力されていますか？ → 本機と入力機器を正しく接続してください。また、入力機器から音声が出力されているか確認してください。	22
	● 本機とアンプ、アンプとスピーカーは正しく接続されていますか？ → 正しく接続してください。	22
	● アンプの電源はOFFになっていませんか？またボリュームが小さくなっていませんか？ → アンプの電源をONにして、ボリュームを適切な値に調節してください。	—
	● 入力は、正しいバスやマトリクスに送られていますか？ → 正しく設定してください。	30
	● 接続した出力端子とバス（マトリクス）との関係は正しいですか？ → 正しく接続・設定を行ってください。	30
	● チャンネルON/OFFスイッチ [ON] は、ONになっていますか？ → ONに設定してください。	35
	● VCA端子に接続されたフェーダーやボリュームが絞り切りになっていませんか？ → VCA端子に接続されたフェーダーやボリュームを適切なレベルに調整してください。	18、35
操作ができない	● エコーキャンセラーユニット（WR-PC200：別売品）を組み込んでいない状態で、エコーキャンセラーユニットを使用する設定のパターンメモリーを呼び出していませんか？（工場出荷状態ではメモリーNo. 7、8が相当します） → エコーキャンセラーユニットを使用しない設定でお使いください。	61
	● ディスプレイに“LOCK”と表示されていませんか？ 表示されている場合、ロック機能が設定されています。 → ロックを解除してください。	34
	● 一部の登録操作中は、関連するキー以外を受け付けなくなります。登録操作を完了してから本来の操作を行ってください。	—
電源が入らない	● ディスプレイに“RMT”と表示されていませんか？ → 表示されているときはPC用リモートコントロールソフトで外部制御されており、前面パネルでの操作は制限されます。	26
	● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？あるいは電源コードが本機から抜けていませんか？ → 電源コードを正しく接続してください。	15

症 状	原因・対策	参照ページ
音が歪む	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ミキサー操作ユニット（WR-PU200：別売品）の入力・出力のシグナル／ピーク表示灯が赤色点灯していませんか？あるいは、PCやiPadのリモートコントロールソフト上でレベルメーターが上限に振りきっていませんか？ → 接続機器の音量および本機側のトリム、フェーダーを調整してください。</li> </ul>	35
音がノイズっぽい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機への入力レベルが低い場合、レベルに合わせて本機のトリムを調整しないと、S/Nが悪い状態で拡声することになります。入力レベルは、本機のメーター表示画面、ミキサー操作ユニットのシグナル／ピーク表示灯、リモートソフトのレベルメーターで確認できます。 → 入力レベルが低すぎる場合は、接続機器および本機の音量調整を行ってください。</li> </ul>	29
本機とリモートソフトが接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● LANケーブルが抜けていませんか？</li> <li>● PCと接続するLANケーブルを、本機のデジタル音声入出力端子に接続していませんか？ → 正しく接続してください。</li> </ul>	10、20

電源コード・コネクター・電源プラグは、ときどき点検してください。

症 状	原因・対策	参照ページ
電源コードの被ふくが痛んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コード、コネクター、電源プラグが痛んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。 → 直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。</li> </ul>	—
使用中、電源コードやコネクター電源プラグの一部が熱い		
使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、温かくなったり、ぬるくなったりする		

# 仕様

電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz	
消費電力	34 W (電気用品安全法 (IEC-J条件) に基づく)	
周波数特性	20 Hz~20 kHz	
入力換算雑音	-126 dBu typ (ソースインピーダンス150 Ω、IHF-A WTD)	
チャンネル間クロストーク	-70 dB以下 (20 Hz~20 kHz)	
ダイナミックレンジ	107 dB typ (IHF-A WTD、モノラルライン出力) 105 dB typ (IHF-A WTD、ステレオライン出力)	
AD/DA変換	24 bit (内部信号処理分解能 32bit/40bit浮動小数点演算)	
サンプリング周波数	48 kHz	
信号遅延	1.8 ms以下 (アナログ入力~アナログ出力)	
構成	アナログ入力	モノラルマイク/ライン入力 8系統、ステレオライン入力 4系統
	アナログ出力	モノラルライン出力 8系統、ステレオライン出力 2系統
	デジタル入力	USBオーディオ ステレオ入力1系統 Dante入力 16系統 *1
	デジタル出力	USBオーディオ ステレオ出力1系統 Dante出力 16系統 *1
	内部入力チャンネル	32系統
	ミキシングバス	16系統
	マトリクス	16系統
ファンタム電源	+48 V DC 1系統あたり最大10 mA 8系統 (モノラルマイク/ライン入力) に搭載	
ユーザーメモリー数	32	
使用温度範囲	0 °C~45 °C	
外形寸法	幅 480 mm 高さ 44 mm 奥行280 mm	
質量	約3.5 kg	
仕上げ	黒色塗装 (マンセルN1近似色)	

\*1 WR-DX200DANのみ  
0 dBu=0.775 Vrms

## 信号処理機能

PEQ	PKG	Q=0.3~30、F=20 Hz~20 kHz (1/48 octステップ)、 G=±15 dB (0.1 dBステップ)
	SHL/SHH	F=20 Hz~20 kHz (1/48 oct ステップ)、 G=±15 dB (0.1 dBステップ)
HPF (INPUTチャンネル)	カットオフ周波数	20 Hz~1,800 Hz (1/12 oct ステップ)
LPF、HPF (Xover、マトリクスチャ ンネル)	カットオフ周波数	20 Hz~20 kHz (1/48 oct ステップ)
	フィルタ種類	バターワース、ベッセル、リンクウィッツ
	傾き	-6 dB/oct、-12 dB/oct、-18 dB/oct、-24 dB/oct (リンクウィッツは -12 dB/oct、-24 dB/oct のみ)
ダイナミクス		
コンプレッサー	スレッシュホールド	-36 dBu~ +24 dBu (1 dBステップ)
	レシオ	1 : 1 ~ ∞ : 1
	アタックタイム	0 ms~250 ms
	リリースタイム	5 ms~2,000 ms
	ゲイン	0 dB~ +12 dB (0.5 dB ステップ)
ゲート (内部入力チャンネル 1~8に搭載)	スレッシュホールド	-90 dBu~ -40 dBu (1 dB ステップ)
	アタックタイム	0 ms~250 ms
	リリースタイム	5 ms~2,000 ms
ディレイ	0 ms~300 ms (20.8 μs ステップ)	
フェーズ	NORMAL / INVERSE	

ダイナミックノッチ	任意のINPUTチャンネルに最大8系統設定可能 1系統あたりノッチフィルター数：4 ノッチフィルター特性： 周波数帯域：40 Hz～18 kHz (1/48 oct ステップ) 減衰量：0 dB～ -15 dB (3 dB ステップ) Q：30、60
プリノッチ	マトリクスチャンネル1～16に設定可能 検出結果を対象チャンネルのPEQ Band 1～4に設定 ノッチフィルター特性： 周波数帯域：40 Hz～18 kHz (1/48 oct ステップ) 減衰量：0 dB～ -15dB (3 dB ステップ) Q：30
オートミックス	任意のINPUTチャンネルに最大8系統×2グループ設定可能
オシレーター	ピンクノイズ、サイン波 (1 kHz)

※0 dBu=0.775 Vrms

## 入出力仕様

モノラルマイク/ライン入力 (1～8)	
コネクタ	コネクタ式端子台 (3.81 mmピッチ) 3 pin
入力インピーダンス	10 kΩ (平衡)
定格入力レベル	-60 dBu～+4 dBu
最大入力レベル	+24 dBu
ステレオライン入力 (1～4)	
コネクタ	コネクタ式端子台 (3.81 mmピッチ) 3 pin
入力インピーダンス	10 kΩ (不平衡)
定格出力レベル	-10 dBV
最大出力レベル	+10 dBV
モノラルライン出力 (1～8)	
コネクタ	コネクタ式端子台 (3.81 mmピッチ) 3 pin
適合負荷インピーダンス	10 kΩ以上 (平衡)
定格出力レベル	+4 dBu
最大出力レベル	+24 dBu
ステレオライン出力 (1～2)	
コネクタ	コネクタ式端子台 (3.81 mmピッチ) 3 pin
適合負荷インピーダンス	10 kΩ以上 (不平衡)
定格出力レベル	-10 dBV
最大出力レベル	+10 dBV
USB入出力 (入力 2 ch、出力 2 ch)	
コネクタ	USB type B
USB class	USB audio class 1.0
Dante入出力 (入力 16 ch、出力 16 ch) *1	
コネクタ	RJ45 (Primary、Secondary)
方式	Dante
VCA/外部接点入力 (兼用) (4 ch)	
コネクタ	コネクタ式端子台 (3.81 mmピッチ) 6 pin
推奨ボリューム (VCA使用時)	10 kΩ Bカーブ
外部接点出力 (4 ch)	
コネクタ	コネクタ式端子台 (3.81 mmピッチ) 6 pin
回路形式	オープンコレクタ
制御用LAN	
コネクタ	RJ45
方式	100BASE-TX

\*1 WR-DX200DANのみ

0 dBu = 0.775 Vrms、0 dBV = 1 Vrms

# 設定一覧

## 設定一覧

### ■ インプット

項目	対象チャンネル	工場出荷時設定	設定範囲
ファンタム電源	全チャンネル	OFF	OFF、ON
インプットゲイン	全チャンネル	BAL INPUT1~4 : -20 dBu BAL INPUT5~8 : -50 dBu	+4 dBu~-60 dBu
ディレイ	全チャンネル	ON/OFFスイッチ : OFF	OFF、ON
		インプットディレイ : 0 ms	0 ms~300 ms
		0 m	0 m~102 m
		0 f	0 f~9 f
デジタルゲイン	全チャンネル	0.0 dB	-36.0 dB~+24.0 dB
フェイズ	全チャンネル	NORMAL	NORMAL、INVERT
HPF	全チャンネル	HPF FREQ : 80 Hz	20 Hz~1800 Hz
		ON/OFFスイッチ : OFF	ON/OFF
ダイナミクス (ノイズゲート)	インプット1~8	ON/OFFスイッチ : OFF	OFF、ON
		TH LEVEL : OFF	OFF、-90 dBu~-40 dBu
		ATTACK : 1 ms	0 ms~250 ms
		RELEASE : 450 ms	5 ms~2000 ms
ダイナミクス (コンプレッサー)	全チャンネル	ON/OFFスイッチ : OFF	OFF、ON
		TH LEVEL : -2 dBu	-36 dBu~+24 dBu
		RATIO : 4.17 : 1	1 : 1~inf : 1
		ATTACK : 100 ms	0 ms~250 ms
		RELEASE : 1000 ms	5 ms~2000 ms
		GAIN : +3.0 dB	0.0 dB~12.0 dB
イコライザー (PEQ)	全チャンネル	ON/OFFスイッチ : ON	OFF、ON
		HIGH : Q : 3.0 FREQ : 4.00 kHz GAIN : 0 dB	0.3~30、SHH 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB
		HIGH MID : Q : 3.0 FREQ : 1.25 kHz GAIN : 0 dB	0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB
		LOW MID : Q : 3.0 FREQ : 315 Hz GAIN : 0 dB	0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB
		LOW : Q : インプット1~8 : SHL インプット9~32 : 3.0 FREQ : インプット1~8 : 63 Hz インプット9~32 : 125 Hz GAIN : インプット1~8 : -6 dB インプット9~32 : 0 dB	0.3~30、SHL 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB
ダイナミックノッチ	全チャンネル	ON/OFFスイッチ : インプット1~8 : ON インプット9~32 : OFF	OFF、ON

項目	対象チャンネル	工場出荷時設定	設定範囲
ONスイッチ	全チャンネル	インプット1~16 : ON インプット17~32 : OFF	OFF、ON
フェーダーレベル	全チャンネル	inf	inf、-117 dB~+10 dB
バスセンド	全チャンネル	バス1~16 : ON/OFFスイッチ : OFF	OFF、ON
		バス1~16 : レベル : 0 dB	inf、-117 dB~+10 dB
		バス1~16 (ステレオバスのみ) : PAN/BAL*1 : C	L16~C~R16
マトリクスセンド	全チャンネル	マトリクス1、2、3、9、10 : ON/OFFスイッチ : インプット1~16 : ON インプット17~32 : OFF マトリクス4~8、11~16 : ON/OFFスイッチ : OFF	OFF、ON
		マトリクス1~16 : レベル : 0 dB	inf、-117 dB~+10 dB
		マトリクス1~16 (ステレオマトリクスのみ) : PAN/BAL*2 : C	L16~C~R16
モノラル/ステレオ 設定	インプット1~32 (インプット9~18 は除く)	MONO	MONO、ST
	インプット9~18	ST	MONO、ST
MANUALスイッチ	全チャンネル	OFF	OFF、ON

※1 ステレオバス設定時

※2 ステレオマトリクス設定時

## ■ バス

項目	対象チャンネル	工場出荷時設定	設定範囲
ONスイッチ	全チャンネル	OFF	OFF、ON
フェーダーレベル	全チャンネル	inf	inf、-117 dB~+10 dB
PAN、BAL	全チャンネル	C (センター)	L16~C~R16
マトリクスセンド	全チャンネル	マトリクス1~16 : ON/OFFスイッチ : OFF	OFF、ON
		マトリクス1~16 : レベル : 0 dB	inf、-117 dB~+10 dB
		マトリクス1~16 (ステレオマトリクスのみ) : PAN/BAL*1 : C	L16~C~R16
モノラル/ステレオ バス設定	バス1~12	MONO	MONO、ST
	バス13~16	ST	MONO、ST
MANUALスイッチ	全チャンネル	OFF	OFF、ON

※1 ステレオマトリクス設定時

# 設定一覧

## ■ マトリクス

項目	対象チャンネル	工場出荷時設定	設定範囲
イコライザー*1 (PEQ)	マトリクス1~8 (マトリクス9~16 は4BAND)	ON/OFFスイッチ : ON	OFF, ON
		EQ1 : Q : 3.0 FREQ : マトリクス1~8 : 63 Hz マトリクス9~16 : 125 Hz GAIN : 0 dB	0.3~30, SHL 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB
		EQ2 : Q : 3.0 FREQ : マトリクス1~8 : 125 Hz マトリクス9~16 : 315 Hz GAIN : 0 dB	0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB
		EQ3 : Q : 3.0 FREQ : マトリクス1~8 : 250 Hz マトリクス9~16 : 1.25 kHz GAIN : 0 dB	0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB
		EQ4 : Q : 3.0 FREQ : マトリクス1~8 : 500 Hz マトリクス9~16 : 4 kHz GAIN : 0 dB	0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB
		EQ5 : Q : 3.0 FREQ : 630 Hz GAIN : 0 dB	0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB
		EQ6 : Q : 3.0 FREQ : 2 kHz GAIN : 0 dB	0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB
		EQ7 : Q : 3.0 FREQ : 2 kHz GAIN : 0 dB	0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB
		EQ8 : Q : 3.0 FREQ : 2 kHz GAIN : 0 dB	0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB
		EQ9 : Q : 3.0 FREQ : 2 kHz GAIN : 0 dB	0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB
		EQ10 : Q : 3.0 FREQ : 2 kHz GAIN : 0 dB	0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB
		EQ11 : Q : 3.0 FREQ : 2 kHz GAIN : 0 dB	0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB
		EQ12 : Q : 3.0 FREQ : 2 kHz GAIN : 0 dB	0.3~30, SHH 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB

項目	対象チャンネル	工場出荷時設定	設定範囲
HPF*1 (XOVER)	全チャンネル	HPF TYPE : BW12H	BW06H、BW12H、 BW18H、BW24H、 BS06H、BS12H、 BS18H、BS24H、 LR12H、LR24H
		HPF FREQ : 80 Hz	20 Hz~20000 Hz
		HPF THRU : OFF	OFF、ON
LPF*1 (XOVER)	全チャンネル	LPF TYPE : BW12L	BW06L、BW12L、 BW18L、BW24L、 BS06L、BS12L、 BS18L、BS24L、 LR12L、LR24L
		LPF FREQ : 80 Hz	20 Hz~20000 Hz
		LPF THRU : OFF	OFF、ON
ダイナミクス (コンプレッサー)	全チャンネル	ON/OFFスイッチ : OFF	OFF、ON
		TH LEVEL : -2 dBu	-36 dBu~+24 dBu
		RATIO : 4.17 : 1	1 : 1~inf : 1
		ATTACK : 100 ms	0 ms~250 ms
		RELEASE : 1000 ms	5 ms~2000 ms
GAIN : +3.0 dB	0.0 dB~12.0 dB		
フェーダーレベル	全チャンネル	0 dB	inf、-117 dB~+10 dB
マトリクスミキシング	全チャンネル	バス1~16 : ON/OFFスイッチ : OFF	OFF、ON
		バス1~16 : レベル : 0 dB	inf、-117 dB~+10 dB
ONスイッチ	全チャンネル	マトリクス1~3、9、10 : ON マトリクス4~8、11~16 : OFF	OFF、ON
モノラル/ステレオ マトリクス設定	マトリクス1~2、 9~10	ST	MONO、ST
	マトリクス3~8、 11~16	MONO	MONO、ST
MANUALスイッチ	全チャンネル	OFF	OFF、ON

※1 リモートソフトのイコライザー設定でPEQ/XOVERの切り替えが可能。詳細はリモートソフトの取扱説明書（「ユーザーリティー設定」の「オーディオ設定」）をお読みください。

## ■ オシレーター

項目	工場出荷時設定	設定範囲
オシレーター選択	OFF	PINK、1 kHz、OFF
オシレーターレベル	-10 dB	inf、-117 dB~+10 dB
バスセンド	バス1~16 : ON/OFFスイッチ : OFF	OFF、ON
	バス1~16 : ON/OFFスイッチ : 0 dB	inf、-117 dB~+10 dB
	バス1~16 (ステレオバスのみ) : PAN/BAL : C	L16~C~R16
マトリクスセンド	マトリクス1~16 : ON/OFFスイッチ : OFF	OFF、ON
	マトリクス1~16 : ON/OFFスイッチ : 0 dB	inf、-117 dB~+10 dB
	マトリクス1~16 (ステレオバスのみ) : PAN/BAL : C	L16~C~R16

# 設定一覧

## ■ パッチ

項目	工場出荷時設定	設定範囲
INPUT PATCH	CH1~8 : BAL IN1~8 CH9~16 : UNBAL IN1~4 CH17~32 : OFF	OFF、BAL IN1~8、UNBAL IN1~4 L、UNBAL IN1~4 R、USB IN L、USB IN R、DanteIN1~16
BUS SUBIN MATRIX SUBIN	BUS1~16、MATRIX1~16 : OFF	OFF、BAL IN1~8、UNBAL IN1~4 L、UNBAL IN1~4 R、USB IN L、USB IN R、DanteIN1~16
OUTPUT PATCH	BAL OUT1~8 : MTX1~8 UNBAL OUT1~2 : MTX9~12 USB OUT L、USB OUT R : OFF Dante OUT1~16 : OFF	OFF、MTX1~16、BUS1~16、AEC REF1、2

## ■ その他

項目	工場出荷時設定	設定範囲
ミュートグループ	MUTE GROUP1~4 : 未登録 ON/OFFスイッチ : OFF	OFF、ON
フェーダーグループ	FADER GROUP1 : MTX1~3 : ON FADER GROUP2~4 : 未登録	OFF、ON
パターンメモリー	PATTERN MEMORY1~32 : 「■ パターンメモリー初期値 (工場出荷時)」に記載	—
Auto Mixアサイン	ch1~16 : ON/OFFスイッチ : OFF	OFF、ON
Auto Mix	AutoMixer1、2 : ON/OFFスイッチ : OFF	OFF、ON
OUTPUT DELAY	BAL OUT1~16、UNBAL OUT1~2、 USB OUT、Dante OUT1~16 : ON/OFFスイッチ : OFF	OFF、ON
	BAL OUT1~16、UNBAL OUT1~2、 USB OUT、Dante OUT1~16 : 0 ms : 0 m : 0 f	0 ms~300 ms 0 m~102 m 0 f~9 f
OUTPUT GAIN	BAL OUT1~16、UNBAL OUT1~2、 USB OUT、Dante OUT1~16 : 0.0 dB	-36.0 dB~+24.0 dB
AEC (WR-PC200装着時)	IN LEVEL : 0.0 dB	-36.0 dB~+24.0 dB
	REF LEVEL : 0.0 dB	-36.0 dB~+24.0 dB
	AUTO REF LEVEL : OFF	OFF、ON
	NLP : MID	LOW、MID、HIGH
	THRU SW : OFF	OFF、ON
	AEC SW : ON	OFF、ON
	REDUCTION : -10.0 dB	-6 dB~-20 dB
	DNR SW : ON	OFF、ON
AGC SW : ON	OFF、ON	

項目	工場出荷時設定	設定範囲
ミキサー操作ユニット 設定	機器名称 : WR-PU200-1	
	IPアドレス : 192.168.1.100	
	ポート番号 : 62101	
	パスワード : Admin12345	
	フェーダー1 : IN1	OFF、IN 1~IN 32、 BUS 1~BUS 16、OSC、 MTX 1~MTX 16
	フェーダー2 : IN2	
	フェーダー3 : IN3	
	フェーダー4 : IN4	
	フェーダー5 : IN5	
	フェーダー6 : IN6	
	フェーダー7 : IN7	
	フェーダー8 : IN8	
	フェーダー9 : IN9	
	フェーダー10 : IN11	
	フェーダー11 : IN13	
	フェーダー12 : IN15	
	フェーダー13 : MTX9	
	フェーダー14 : MTX1	
	ASSIGNABLE KEY1 : パターンメモリー呼び出し : 1 (2秒長押し)	OFF、外部接点出力、 パターンメモリー呼び出し、 外部コマンド送信、 ミュートグループON/OFF、 WR-PU200のパネルロック
	ASSIGNABLE KEY2 : パターンメモリー呼び出し : 2 (2秒長押し)	
ASSIGNABLE KEY3 : パターンメモリー呼び出し : 3 (2秒長押し)		
ASSIGNABLE KEY4 : パターンメモリー呼び出し : 4 (2秒長押し)		
ASSIGNABLE KEY5 : パターンメモリー呼び出し : 5 (2秒長押し)		
ASSIGNABLE KEY6 : パターンメモリー呼び出し : 6 (2秒長押し)		
ASSIGNABLE KEY7 : パターンメモリー呼び出し : 7 (2秒長押し)		
ASSIGNABLE KEY8 : パターンメモリー呼び出し : 8 (2秒長押し)		

## ■ パターンメモリー初期値 (工場出荷時)

項目	パターンメモリーNo.1~5	パターンメモリーNo.6	パターンメモリーNo.7	パターンメモリーNo.8	パターンメモリーNo.9~32
インプットゲイン	BAL INPUT1~4 : -20 dBu BAL INPUT5~8 : -50 dBu	BAL INPUT1~4 : -20 dBu BAL INPUT5~8 : -50 dBu	BAL INPUT1~4 : -20 dBu BAL INPUT5~8 : -50 dBu	BAL INPUT1~4 : -20 dBu BAL INPUT5~8 : -50 dBu	+4 dBu
イコライザー (PEQ)	ON/OFFスイッチ : ON HIGH : Q : 3.0 FREQ : 4.00 kHz GAIN : 0 dB HIGH MID : Q : 3.0 FREQ : 1.25 kHz GAIN : 0 dB LOW MID : Q : 3.0 FREQ : 315 Hz GAIN : 0 dB LOW : Q : 3.0 インプット1~8 : SHL : 3.0 インプット9~32 : FREQ : 63 Hz インプット1~8 : 125 Hz GAIN : 3.0 インプット1~8 : -6 dB インプット9~32 : 0 dB	ON/OFFスイッチ : ON HIGH : Q : 3.0 FREQ : 4.00 kHz GAIN : 0 dB HIGH MID : Q : 3.0 FREQ : 1.25 kHz GAIN : 0 dB LOW MID : Q : 3.0 FREQ : 315 Hz GAIN : 0 dB LOW : Q : 3.0 インプット1~8 : SHL : 3.0 インプット9~32 : FREQ : 63 Hz インプット1~8 : 125 Hz GAIN : 3.0 インプット1~8 : -6 dB インプット9~32 : 0 dB	ON/OFFスイッチ : ON HIGH : Q : 3.0 FREQ : 4.00 kHz GAIN : 0 dB HIGH MID : Q : 3.0 FREQ : 1.25 kHz GAIN : 0 dB LOW MID : Q : 3.0 FREQ : 315 Hz GAIN : 0 dB LOW : Q : 3.0 インプット1~16 : SHL : 3.0 インプット17~32 : FREQ : 63 Hz インプット1~16 : 125 Hz GAIN : 3.0 インプット1~16 : -6 dB インプット17~32 : 0 dB	ON/OFFスイッチ : ON HIGH : Q : 3.0 FREQ : 4.00 kHz GAIN : 0 dB HIGH MID : Q : 3.0 FREQ : 1.25 kHz GAIN : 0 dB LOW MID : Q : 3.0 FREQ : 315 Hz GAIN : 0 dB LOW : Q : 3.0 インプット1~16 : SHL : 3.0 インプット17~32 : FREQ : 63 Hz インプット1~16 : 125 Hz GAIN : 3.0 インプット1~16 : -6 dB インプット17~32 : 0 dB	ON/OFFスイッチ : ON HIGH : Q : 3.0 FREQ : 4.00 kHz GAIN : 0 dB HIGH MID : Q : 3.0 FREQ : 1.25 kHz GAIN : 0 dB LOW MID : Q : 3.0 FREQ : 315 Hz GAIN : 0 dB LOW : Q : 3.0 FREQ : 125 Hz GAIN : 0 dB
ダイナミック ノッチ	ON/OFFスイッチ : ON インプット1~8 : ON インプット9~32 : OFF	ON/OFFスイッチ : ON インプット1~8 : ON インプット9~32 : OFF	ON/OFFスイッチ : ON インプット1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15 : ON インプット2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16~32 : OFF	ON/OFFスイッチ : ON インプット1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15 : ON インプット2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16~32 : OFF	ON/OFFスイッチ : OFF
ONSスイッチ	インプット1~16 : ON インプット17~32 : OFF バス1~16 : OFF マトリクス1~3, 9, 10 : ON マトリクス4~8, 11~16 : OFF	インプット1~16 : ON インプット17~32 : OFF バス1~16 : OFF マトリクス1~10 : ON マトリクス11~16 : OFF	インプット1~24 : ON インプット25~32 : OFF バス1~14 : OFF バス15, 16 : ON マトリクス1~3, 9, 10, 13, 14 : ON マトリクス4~8, 11, 12, 15, 16 : OFF	インプット1~24 : ON インプット25~32 : OFF バス1~14 : OFF バス15, 16 : ON マトリクス1~3, 9~14 : ON マトリクス4~8, 15, 16 : OFF	インプット1~16 : ON インプット17~32 : OFF バス1~16 : OFF マトリクス1~16 : OFF
フェーダーレベル	インプット : inf バス : inf マトリクス : 0 dB	インプット : inf バス : inf マトリクス : 0 dB	インプット : inf バス1~14 : inf バス15, 16 : 0 dB マトリクス : 0 dB	インプット : inf バス1~14 : inf バス15, 16 : 0 dB マトリクス : 0 dB	inf

項目	パターンメモリーNo.1~5	パターンメモリーNo.6	パターンメモリーNo.7	パターンメモリーNo.8	パターンメモリーNo.9~32
バスセンド	バス1~16 : ON/OFFスイッチ : OFF	バス1~16 : ON/OFFスイッチ : OFF	バス15, 16 : ON/OFFスイッチ : インプット23, 24 : ON インプット1~22, 25~32 : OFF バス1~14 : ON/OFFスイッチ : OFF	バス15, 16 : ON/OFFスイッチ : インプット21~24 : ON インプット1~20, 25~32 : OFF バス1~14 : ON/OFFスイッチ : OFF	バス1~16 : ON/OFFスイッチ : OFF
マトリクスセンド	マトリクス1~3, 9, 10 : ON/OFFスイッチ : インプット1~16 : ON インプット17~32 : OFF マトリクス4~8, 11~16 : ON/OFFスイッチ : OFF	マトリクス1~10 : ON/OFFスイッチ : インプット1~16 : ON インプット17~32 : OFF マトリクス11~16 : ON/OFFスイッチ : OFF	マトリクス1~3, 9, 10 : ON/OFFスイッチ : インプット1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 17~24 : ON インプット2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 25~32 : OFF マトリクス13, 14 : ON/OFFスイッチ : インプット2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16~22 : ON インプット1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 23~32 : OFF マトリクス4~8, 11, 12, 15, 16 : ON/OFFスイッチ : OFF	マトリクス1~3, 9, 10 : ON/OFFスイッチ : インプット1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 17~24 : ON インプット2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 25~32 : OFF マトリクス11, 12 : ON/OFFスイッチ : インプット2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16~20, 23, 24 : ON インプット1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 21, 22, 25~32 : OFF マトリクス13, 14 : ON/OFFスイッチ : インプット2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16~22 : ON インプット1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 23~32 : OFF マトリクス4~8 : ON/OFFスイッチ : OFF	OFF
モノラル/ステレオ設定	マトリクス1~16 : レベル : 0 dB マトリクス1~16 (ステレオマトリクスのみ) : PAN/BAL*1 : C	マトリクス1~16 : レベル : 0 dB マトリクス1~16 (ステレオマトリクスのみ) : PAN/BAL*1 : C	マトリクス1~16 : レベル : 0 dB マトリクス1~16 (ステレオマトリクスのみ) : PAN/BAL*1 : C	マトリクス1~16 : レベル : 0 dB マトリクス1~16 (ステレオマトリクスのみ) : PAN/BAL*1 : C	マトリクス1~16 : レベル : 0 dB マトリクス1~16 (ステレオマトリクスのみ) : PAN/BAL*1 : C
ミュートグループ	MUTE GROUP1~4 : 未登録 ON/OFFスイッチ : OFF	MUTE GROUP1~4 : 未登録 ON/OFFスイッチ : OFF	MUTE GROUP1~4 : 未登録 ON/OFFスイッチ : OFF	MUTE GROUP1~4 : 未登録 ON/OFFスイッチ : OFF	MUTE GROUP1~4 : 未登録 ON/OFFスイッチ : OFF

項目	パターンメモリーNo.1~5	パターンメモリーNo.6	パターンメモリーNo.7	パターンメモリーNo.8	パターンメモリーNo.9~32
フェーダーグループ	FADER GROUP1 : MTX1~3 : ON FADER GROUP2~4 : 未登録	FADER GROUP1 : MTX1~8 : ON FADER GROUP2~4 : 未登録	FADER GROUP1 : MTX1~3 : ON FADER GROUP2 : MTX9, 10, 13, 14 : ON FADER GROUP3, 4 : 未登録	FADER GROUP1 : MTX1~3 : ON FADER GROUP2 : MTX9~14 : ON FADER GROUP3, 4 : 未登録	FADER GROUP1~4 : 未登録
INPUT PATCH	CH1~8 : BAL IN1~8 CH9~16 : UNBAL IN1~4 CH17~32 : OFF	CH1~8 : BAL IN1~8 CH9~16 : UNBAL IN1~4 CH17~32 : OFF	CH1, 2 : BAL IN1 CH3, 4 : BAL IN2 CH5, 6 : BAL IN3 CH7, 8 : BAL IN4 CH9, 10 : BAL IN5 CH11, 12 : BAL IN6 CH13, 14 : BAL IN7 CH15, 16 : BAL IN8 CH17, 18 : UNBAL IN1 L, UNBAL IN1 R CH19, 20 : UNBAL IN2 L, UNBAL IN2 R CH21, 22 : UNBAL IN3 L, UNBAL IN3 R CH23, 24 : USB IN L, USB IN R CH25~32 : OFF	CH1, 2 : BAL IN1 CH3, 4 : BAL IN2 CH5, 6 : BAL IN3 CH7, 8 : BAL IN4 CH9, 10 : BAL IN5 CH11, 12 : BAL IN6 CH13, 14 : BAL IN7 CH15, 16 : BAL IN8 CH17, 18 : UNBAL IN1 L, UNBAL IN1 R CH19, 20 : UNBAL IN2 L, UNBAL IN2 R CH21, 22 : UNBAL IN3 L, UNBAL IN3 R CH23, 24 : USB IN L, USB IN R CH25~32 : OFF	CH1~8 : BAL IN1~8 CH9~16 : UNBAL IN1~4 CH17~32 : OFF
OUTPUT PATCH	BAL OUT1~8 : MTX1~8 UNBAL OUT1~2 : MTX9~12 USB OUT L, USB OUT R : OFF Dante OUT1~16 : OFF AEC1~8 : OFF	BAL OUT1~8 : MTX1~8 UNBAL OUT1~2 : MTX9~12 USB OUT L, USB OUT R : OFF Dante OUT1~16 : OFF AEC1~8 : OFF	BAL OUT1~8 : MTX1~8 UNBAL OUT1~2 : MTX9~12 USB OUT L, USB OUT R : MTX13, 14 Dante OUT1~16 : OFF AEC1~8 : IN2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16	BAL OUT1~8 : MTX1~8 UNBAL OUT1~2 : MTX9~12 USB OUT L, USB OUT R : MTX13, 14 Dante OUT1~16 : OFF AEC1~8 : IN2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16	BAL OUT1~8 : MTX1~8 UNBAL OUT1~2 : MTX9~12 USB OUT L, USB OUT R : OFF Dante OUT1~16 : OFF AEC1~8 : OFF
AEC SEL1	AEC1~8 : OFF	AEC1~8 : OFF	AEC1~8 : IN2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16	AEC1~8 : IN2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16	AEC1~8 : OFF
AEC SEL2	AEC1~8 : AEC REF1	AEC1~8 : AEC REF1	AEC1~8 : AEC REF1	AEC1~8 : AEC REF1	AEC1~8 : AEC REF1
AEC REF	AEC REF1, 2 : OFF	AEC REF1, 2 : OFF	AEC REF1 : BUS15 AEC REF2 : OFF	AEC REF1 : BUS15 AEC REF2 : OFF	AEC REF1, 2 : OFF
AUTO REF LEVEL	AUTO REF LEVEL : OFF	AUTO REF LEVEL : OFF	AUTO REF LEVEL : ON	AUTO REF LEVEL : ON	AUTO REF LEVEL : OFF
チャンネルペアモード	インプット : ST バス : ST マトリクス : ST	インプット : ST バス : ST マトリクス : ST	インプット : FADER LINK バス : ST マトリクス : ST	インプット : FADER LINK バス : ST マトリクス : ST	インプット : ST バス : ST マトリクス : ST

項目	バッテリーメモリNo.1~5	バッテリーメモリNo.6	バッテリーメモリNo.7	バッテリーメモリNo.8	バッテリーメモリNo.9~32
ミキサー操作 ユニット設定 フェーダー設定	フェーダー1 : IN1 フェーダー2 : IN2 フェーダー3 : IN3 フェーダー4 : IN4 フェーダー5 : IN5 フェーダー6 : IN6 フェーダー7 : IN7 フェーダー8 : IN8 フェーダー9 : IN9 フェーダー10 : IN11 フェーダー11 : IN13 フェーダー12 : IN15 フェーダー13 : MTX9 フェーダー14 : MTX1	フェーダー1 : IN1 フェーダー2 : IN2 フェーダー3 : IN3 フェーダー4 : IN4 フェーダー5 : IN5 フェーダー6 : IN6 フェーダー7 : IN7 フェーダー8 : IN8 フェーダー9 : IN9 フェーダー10 : IN11 フェーダー11 : IN13 フェーダー12 : IN15 フェーダー13 : MTX9 フェーダー14 : MTX1	フェーダー1 : IN1 フェーダー2 : IN3 フェーダー3 : IN5 フェーダー4 : IN7 フェーダー5 : IN9 フェーダー6 : IN11 フェーダー7 : IN13 フェーダー8 : IN15 フェーダー9 : IN17 フェーダー10 : IN19 フェーダー11 : IN21 フェーダー12 : IN23 フェーダー13 : MTX9 フェーダー14 : MTX1	フェーダー1 : IN1 フェーダー2 : IN3 フェーダー3 : IN5 フェーダー4 : IN7 フェーダー5 : IN9 フェーダー6 : IN11 フェーダー7 : IN13 フェーダー8 : IN15 フェーダー9 : IN17 フェーダー10 : IN19 フェーダー11 : IN21 フェーダー12 : IN23 フェーダー13 : MTX9 フェーダー14 : MTX1	フェーダー1 : IN1 フェーダー2 : IN2 フェーダー3 : IN3 フェーダー4 : IN4 フェーダー5 : IN5 フェーダー6 : IN6 フェーダー7 : IN7 フェーダー8 : IN8 フェーダー9 : IN9 フェーダー10 : IN10 フェーダー11 : IN11 フェーダー12 : IN12 フェーダー13 : IN13 フェーダー14 : IN14
ミキサー操作 ユニット設定 ASSIGNABLE KEY設定	ASSIGNABLE KEY1 : バッテリーメモリ呼び出し : 1 ASSIGNABLE KEY2 : バッテリーメモリ呼び出し : 2 ASSIGNABLE KEY3 : バッテリーメモリ呼び出し : 3 ASSIGNABLE KEY4 : バッテリーメモリ呼び出し : 4 ASSIGNABLE KEY5 : バッテリーメモリ呼び出し : 5 ASSIGNABLE KEY6 : バッテリーメモリ呼び出し : 6 ASSIGNABLE KEY7 : バッテリーメモリ呼び出し : 7 ASSIGNABLE KEY8 : バッテリーメモリ呼び出し : 8	ASSIGNABLE KEY1 : バッテリーメモリ呼び出し : 1 ASSIGNABLE KEY2 : バッテリーメモリ呼び出し : 2 ASSIGNABLE KEY3 : バッテリーメモリ呼び出し : 3 ASSIGNABLE KEY4 : バッテリーメモリ呼び出し : 4 ASSIGNABLE KEY5 : バッテリーメモリ呼び出し : 5 ASSIGNABLE KEY6 : バッテリーメモリ呼び出し : 6 ASSIGNABLE KEY7 : バッテリーメモリ呼び出し : 7 ASSIGNABLE KEY8 : バッテリーメモリ呼び出し : 8	ASSIGNABLE KEY1 : バッテリーメモリ呼び出し : 1 ASSIGNABLE KEY2 : バッテリーメモリ呼び出し : 2 ASSIGNABLE KEY3 : バッテリーメモリ呼び出し : 3 ASSIGNABLE KEY4 : バッテリーメモリ呼び出し : 4 ASSIGNABLE KEY5 : バッテリーメモリ呼び出し : 5 ASSIGNABLE KEY6 : バッテリーメモリ呼び出し : 6 ASSIGNABLE KEY7 : バッテリーメモリ呼び出し : 7 ASSIGNABLE KEY8 : バッテリーメモリ呼び出し : 8	ASSIGNABLE KEY1 : バッテリーメモリ呼び出し : 1 ASSIGNABLE KEY2 : バッテリーメモリ呼び出し : 2 ASSIGNABLE KEY3 : バッテリーメモリ呼び出し : 3 ASSIGNABLE KEY4 : バッテリーメモリ呼び出し : 4 ASSIGNABLE KEY5 : バッテリーメモリ呼び出し : 5 ASSIGNABLE KEY6 : バッテリーメモリ呼び出し : 6 ASSIGNABLE KEY7 : バッテリーメモリ呼び出し : 7 ASSIGNABLE KEY8 : バッテリーメモリ呼び出し : 8	ASSIGNABLE KEY1 ~ 8 : OFF

※1 ステレオマトリクス設定時

記載のないパラメーターについては工場出荷時の設定と同じです。

## 工場出荷状態でのパターンメモリーの内容

50～59ページの内容を、簡易的にまとめたものです。

### ■ パターンメモリー1～5（メモリー呼び出し前の状態も同じです）

PU200 フェーダー No.	DX200 入出力	用途	DX200設定							BUS SEND	MATRIX SEND
			フェーダー 割り当て チャンネル	INPUT部設定			AEC設定				
				Trim	EQ	D-NOTCH	ON/ OFF	REF			
1	BAL IN 1	ワイヤレス マイク 1	INPUT 1	-20dB	SHL-L (※)	ON	OFF	—	なし	1/2, 3, 9/10	
2	BAL IN 2	ワイヤレス マイク 2	INPUT 2	-20dB	SHL-L	ON	OFF	—	なし	1/2, 3, 9/10	
3	BAL IN 3	ワイヤレス マイク 3	INPUT 3	-20dB	SHL-L	ON	OFF	—	なし	1/2, 3, 9/10	
4	BAL IN 4	ワイヤレス マイク 4	INPUT 4	-20dB	SHL-L	ON	OFF	—	なし	1/2, 3, 9/10	
5	BAL IN 5	有線マイク 1	INPUT 5	-50dB	SHL-L	ON	OFF	—	なし	1/2, 3, 9/10	
6	BAL IN 6	有線マイク 2	INPUT 6	-50dB	SHL-L	ON	OFF	—	なし	1/2, 3, 9/10	
7	BAL IN 7	有線マイク 3	INPUT 7	-50dB	SHL-L	ON	OFF	—	なし	1/2, 3, 9/10	
8	BAL IN 8	有線マイク 4	INPUT 8	-50dB	SHL-L	ON	OFF	—	なし	1/2, 3, 9/10	
9	UNBAL IN 1 L/R	再生機器 1	INPUT 9/10	—	OFF	—	—	—	なし	1/2, 3, 9/10	
10	UNBAL IN 2 L/R	再生機器 2	INPUT 11/12	—	OFF	—	—	—	なし	1/2, 3, 9/10	
11	UNBAL IN 3 L/R	再生機器 3	INPUT 13/14	—	OFF	—	—	—	なし	1/2, 3, 9/10	
12	UNBAL IN 4 L/R	再生機器 4	INPUT 15/16	—	OFF	—	—	—	なし	1/2, 3, 9/10	
13	UNBAL OUT 1 L/R	サブ出力	MTX 9/10	—	—	—	—	—	—	—	
14	BAL OUT 1/2, 3	メイン出力	MTX 1/2, 3	—	—	—	—	—	—	—	

※ SHL-Lは、ローカットのために設定しています。

### ■ パターンメモリー6

PU200 フェーダー No.	DX200 入出力	用途	DX200設定							BUS SEND	MATRIX SEND
			フェーダー 割り当て チャンネル	INPUT部設定			AEC設定				
				Trim	EQ	D-NOTCH	ON/ OFF	REF			
1	BAL IN 1	ワイヤレス マイク 1	INPUT 1	-20dB	SHL-L (※)	ON	OFF	—	なし	1/2, 3/4, 5/6, 7/8, 9/10	
2	BAL IN 2	ワイヤレス マイク 2	INPUT 2	-20dB	SHL-L	ON	OFF	—	なし	1/2, 3/4, 5/6, 7/8, 9/10	
3	BAL IN 3	ワイヤレス マイク 3	INPUT 3	-20dB	SHL-L	ON	OFF	—	なし	1/2, 3/4, 5/6, 7/8, 9/10	
4	BAL IN 4	ワイヤレス マイク 4	INPUT 4	-20dB	SHL-L	ON	OFF	—	なし	1/2, 3/4, 5/6, 7/8, 9/10	
5	BAL IN 5	有線マイク 1	INPUT 5	-50dB	SHL-L	ON	OFF	—	なし	1/2, 3/4, 5/6, 7/8, 9/10	
6	BAL IN 6	有線マイク 2	INPUT 6	-50dB	SHL-L	ON	OFF	—	なし	1/2, 3/4, 5/6, 7/8, 9/10	
7	BAL IN 7	有線マイク 3	INPUT 7	-50dB	SHL-L	ON	OFF	—	なし	1/2, 3/4, 5/6, 7/8, 9/10	
8	BAL IN 8	有線マイク 4	INPUT 8	-50dB	SHL-L	ON	OFF	—	なし	1/2, 3/4, 5/6, 7/8, 9/10	
9	UNBAL IN 1 L/R	再生機器 1	INPUT 9/10	—	OFF	—	—	—	なし	1/2, 3/4, 5/6, 7/8, 9/10	
10	UNBAL IN 2 L/R	再生機器 2	INPUT 11/12	—	OFF	—	—	—	なし	1/2, 3/4, 5/6, 7/8, 9/10	
11	UNBAL IN 3 L/R	再生機器 3	INPUT 13/14	—	OFF	—	—	—	なし	1/2, 3/4, 5/6, 7/8, 9/10	
12	UNBAL IN 4 L/R	再生機器 4	INPUT 15/16	—	OFF	—	—	—	なし	1/2, 3/4, 5/6, 7/8, 9/10	
13	UNBAL OUT 1 L/R	サブ出力	MTX 9/10	—	—	—	—	—	—	—	
14	BAL OUT 1/2, 3	メイン出力	MTX 1/2, 3/4, 5/6, 7/8	—	—	—	—	—	—	—	

※ SHL-Lは、ローカットのために設定しています。

## ■ パターンメモリー7

PU200 フェーダー No.	DX200 入出力	用途	DX200設定							
			フェーダー 割り当て チャンネル	INPUT部設定			AEC設定		BUS SEND	MATRIX SEND
				Trim	EQ	D-NOTCH	ON/OFF	REF		
1	BAL IN 1	ワイヤレス マイク 1	INPUT 1/2 (※1)	-20dB	SHL-L (※2)	INPUT1: ON INPUT2: OFF	INPUT1: OFF INPUT2: ON	BUS 15/16	なし	INPUT1: 1/2, 3, 9/10 INPUT2: 13/14
2	BAL IN 2	ワイヤレス マイク 2	INPUT 3/4	-20dB	SHL-L	INPUT3: ON INPUT4: OFF	INPUT3: OFF INPUT4: ON	BUS 15/16	なし	INPUT3: 1/2, 3, 9/10 INPUT4: 13/14
3	BAL IN 3	ワイヤレス マイク 3	INPUT 5/6	-20dB	SHL-L	INPUT5: ON INPUT6: OFF	INPUT5: OFF INPUT6: ON	BUS 15/16	なし	INPUT5: 1/2, 3, 9/10 INPUT6: 13/14
4	BAL IN 4	ワイヤレス マイク 4	INPUT 7/8	-20dB	SHL-L	INPUT7: ON INPUT8: OFF	INPUT7: OFF INPUT8: ON	BUS 15/16	なし	INPUT7: 1/2, 3, 9/10 INPUT8: 13/14
5	BAL IN 5	有線マイク 1	INPUT 9/10	-50dB	SHL-L	INPUT9: ON INPUT10: OFF	INPUT9: OFF INPUT10: ON	BUS 15/16	なし	INPUT9: 1/2, 3, 9/10 INPUT10: 13/14
6	BAL IN 6	有線マイク 2	INPUT 11/12	-50dB	SHL-L	INPUT11: ON INPUT12: OFF	INPUT11: OFF INPUT12: ON	BUS 15/16	なし	INPUT11: 1/2, 3, 9/10 INPUT12: 13/14
7	BAL IN 7	有線マイク 3	INPUT 13/14	-50dB	SHL-L	INPUT13: ON INPUT14: OFF	INPUT13: OFF INPUT14: ON	BUS 15/16	なし	INPUT13: 1/2, 3, 9/10 INPUT14: 13/14
8	BAL IN 8	有線マイク 4	INPUT 15/16	-50dB	SHL-L	INPUT15: ON INPUT16: OFF	INPUT15: OFF INPUT16: ON	BUS 15/16	なし	INPUT15: 1/2, 3, 9/10 INPUT16: 13/14
9	UNBAL IN 1 L/R	再生機器 1	INPUT 17/18	—	—	—	—	—	なし	1/2, 3, 9/10, 13/14
10	UNBAL IN 2 L/R	再生機器 2	INPUT 19/20	—	—	—	—	—	なし	1/2, 3, 9/10, 13/14
11	UNBAL IN 3 L/R	再生機器 3	INPUT 21/22	—	—	—	—	—	なし	1/2, 3, 9/10, 13/14
12	USB IN L/R	Web会議用PC	INPUT 23/24	—	—	—	—	—	15/16	1/2, 3, 9/10
13	UNBAL OUT 1 L/R USB OUT L/R	サブ出力 Web会議用PC	MTX 9/10, 13/14	—	—	—	—	—	—	—
14	BAL OUT 1/2, 3	メイン出力	MTX 1/2, 3	—	—	—	—	—	—	—

※1 INPUTチャンネルはフェーダーリンク設定です。

※2 SHL-Lは、ローカットのために設定しています。

## ■ パターンメモリー8

PU200 フェーダー No.	DX200 入出力	用途	DX200設定							
			フェーダー 割り当て チャンネル	INPUT部設定			AEC設定		BUS SEND	MATRIX SEND
				Trim	EQ	D-NOTCH	ON/OFF	REF		
1	BAL IN 1	ワイヤレス マイク 1	INPUT 1/2 (※1)	-20dB	SHL-L (※2)	INPUT1: ON INPUT2: OFF	INPUT1: OFF INPUT2: ON	BUS 15/16	なし	INPUT1: 1/2, 3, 9/10 INPUT2: 11/12, 13/14
2	BAL IN 2	ワイヤレス マイク 2	INPUT 3/4	-20dB	SHL-L	INPUT3: ON INPUT4: OFF	INPUT3: OFF INPUT4: ON	BUS 15/16	なし	INPUT3: 1/2, 3, 9/10 INPUT4: 11/12, 13/14
3	BAL IN 3	ワイヤレス マイク 3	INPUT 5/6	-20dB	SHL-L	INPUT5: ON INPUT6: OFF	INPUT5: OFF INPUT6: ON	BUS 15/16	なし	INPUT5: 1/2, 3, 9/10 INPUT6: 11/12, 13/14
4	BAL IN 4	ワイヤレス マイク 4	INPUT 7/8	-20dB	SHL-L	INPUT7: ON INPUT8: OFF	INPUT7: OFF INPUT8: ON	BUS 15/16	なし	INPUT7: 1/2, 3, 9/10 INPUT8: 11/12, 13/14
5	BAL IN 5	有線マイク 1	INPUT 9/10	-50dB	SHL-L	INPUT9: ON INPUT10: OFF	INPUT9: OFF INPUT10: ON	BUS 15/16	なし	INPUT9: 1/2, 3, 9/10 INPUT10: 11/12, 13/14
6	BAL IN 6	有線マイク 2	INPUT 11/12	-50dB	SHL-L	INPUT11: ON INPUT12: OFF	INPUT11: OFF INPUT12: ON	BUS 15/16	なし	INPUT11: 1/2, 3, 9/10 INPUT12: 11/12, 13/14
7	BAL IN 7	有線マイク 3	INPUT 13/14	-50dB	SHL-L	INPUT13: ON INPUT14: OFF	INPUT13: OFF INPUT14: ON	BUS 15/16	なし	INPUT13: 1/2, 3, 9/10 INPUT14: 11/12, 13/14
8	BAL IN 8	有線マイク 4	INPUT 15/16	-50dB	SHL-L	INPUT15: ON INPUT16: OFF	INPUT15: OFF INPUT16: ON	BUS 15/16	なし	INPUT15: 1/2, 3, 9/10 INPUT16: 11/12, 13/14
9	UNBAL IN 1 L/R	再生機器 1	INPUT 17/18	—	—	—	—	—	なし	1/2, 3, 9/10, 11/12, 13/14
10	UNBAL IN 2 L/R	再生機器 2	INPUT 19/20	—	—	—	—	—	なし	1/2, 3, 9/10, 11/12, 13/14
11	UNBAL IN 3 L/R	TV会議機器入力	INPUT 21/22	—	—	—	—	—	15/16	1/2, 3, 9/10, 13/14
12	USB IN L/R	Web会議用PC	INPUT 23/24	—	—	—	—	—	15/16	1/2, 3, 9/10, 11/12
13	UNBAL OUT 1 L/R, 2 L/R USB OUT L/R	サブ出力 TV会議機器用出力, Web会議用出力	MTX 9/10, 11/12, 13/14	—	—	—	—	—	—	—
14	BAL OUT 1/2, 3	メイン出力	MTX 1/2, 3	—	—	—	—	—	—	—

※1 INPUTチャンネルはフェーダーリンク設定です。

※2 SHL-Lは、ローカットのために設定しています。

パターンメモリー7, 8 はエコーキャンセラーユニット (WR-PC200 : 別売品) を取り付けられた状態でご使用ください。エコーキャンセラーユニットがない状態では、正しく音声出力されません。

## PU200 工場出荷状態のアサイナブルキー設定

メモリー呼び出し前、およびパターンメモリー1～8は以下の内容となっています。

キー名	機能	操作方法
キー1	パターンメモリー1呼び出し	2秒長押し
キー2	パターンメモリー2呼び出し	2秒長押し
キー3	パターンメモリー3呼び出し	2秒長押し
キー4	パターンメモリー4呼び出し	2秒長押し
キー5	パターンメモリー5呼び出し	2秒長押し
キー6	パターンメモリー6呼び出し	2秒長押し
キー7	パターンメモリー7呼び出し	2秒長押し
キー8	パターンメモリー8呼び出し	2秒長押し

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	( ) -
お買い上げ日	年 月 日

## 修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(46ページ)でご確認のあと、直らないときは、まずアンプの電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	オーディオミキサー
●品番	WR-DX200、WR-DX200DAN
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

## アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

### 長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

#### このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、音が出てこない。
- その他の異常・故障がある。

#### 直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店または施工業者に点検や撤去を依頼してください。

その他

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バナハ ヨイフ 受付：9時～17時30分（土・日・祝日は受付のみ）  
※携帯電話からのご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは [https://connect.panasonic.com/jp-ja/support\\_cs-contact](https://connect.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact)

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

#### 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号